京城日報

（年中無休刊）

本紙定價　每號一部金四錢　壹ケ月一部郵稅共前金金壹圓五錢▲三ケ月同三圓▲六ケ月同六圓▲一ケ年同拾貳圓▲郵券代用一割增
廣告料金　五號十四字詰一行一圓五號別二圓▲二號七字詰同二圓▲四號九字詰同二圓▲一號八字詰同二圓▲六號十六字詰金一圓五十錢
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　長六千九番　長六千九番二　振替京城三〇〇番

十月二十八日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

調印と獨帝引渡

政府黨のボナーロー氏は下院に於て發表して曰く前獨逸皇帝引渡に就き總ての準備を爲しあるも各國が總て講和條約に調印する迄は其引渡しを要求するが如き事なかる可しと（倫敦電報）

ケレンキー廢札
東清鐵道の運賃徴收改正

東清鐵道にては十月十六日附達令第二二二號を以て大要左の如き達令を發表せり

當鐵道本社は大藏大臣の認可を經て本年十一月以降金留建基本貨率復舊適用すべき事を東支社に命じ來れり依つて東支鐵道各驛が旅客發着驛たる總ての場合に於て運賃並に明細料金は基本貨率により露國金貨にて徴收し若くは當支社所定の定期換算率により千九百十七年以前發行のロマノフ紙幣鐵道及露亞銀行の共同發行の流通券又は米國印刷の五十哥小札を以て徴收す

右達令によれば同驛は旅客並に貨物運賃建値變更に際し留相場の下落を理由とし萬國の認めて國際通貨とし北滿の標準貨幣たるケ札をオ政府發行の西伯利スキーと同樣に受入れを禁止し且つオ政府の認可を得てオ政府發行の紙幣をも通貨として認めざるものにしてその矛盾撞着の甚だしき達令たるは之れを論ずるの要なき滑稽に過ぐるも右によりて生ずる經濟界の恐慌と同札所持者の之れによりて受くる損害はその內外人たるを問はず日下頻りに會議を開き日本側と提携して對應策を講ずるの希望を有し居れりと（某所著電報）

運賃改正重大
ケレンキー廢札問題

東清鐵道の運賃改正はケレンキー札及び西伯利紙幣の相場を墜落せしめ貨幣取引所は爲めに立會を中止し市場混亂を極むるに至れり之れに對し日露支各別に猛烈なる反對を唱へケレンスキー札が從來標準紙幣にして且つ國際的通貨なるを理由として飽く迄も東清鐵道に於て之れを受入れせしむべく有らゆる方法を講じつゝあり就中露國人の苦痛最も甚しく此儘持續せば破産者頻出すべく今や重大なる社會問題となり支那人亦利害關係多きを以て目下結束反抗の準備中なりと（哈爾賓電報某所著）

ミツドラント銀行改稱か

世界最大の銀行家として其の名を知られたる倫敦ジョイントシチーエンド。ミツドラント銀行頭取サーエドワード・ホルデン氏は去る七月二十三日を以て長逝せるが最近同銀行着電によれば前記シチーエンド、ミツドラント銀行は同氏の功績を記念すべく行名をホルデン銀行と改稱するの噂ありと云ふ

立花中將東上

立花關東司令官は大演習陪觀の爲め二十八日午前七時十分安東通過東上せり（安東特電）

對露新借款成立
鮮銀正金にて三千萬圓引受

朝鮮銀行並に横濱正金銀行共同にて露國々立銀行に對し金貨償保二千萬圓の借款引受けに應じたるが今回更に追加借款として前回同樣左記條件により三千萬圓の引受けを了したり

一金額　三千萬圓
一擔保　金貨
一期限　十五ケ月
一利率　年七分

利上後の財界
商界及び株式界

廿七日より朝鮮銀行の利上實行と共に各銀行の利上げあり市中金利は一流手形割引二錢四五厘當通六七厘を唱ふるに至りしが今後の財界に就き某銀行家は曰く銀行金利の引上は內地の大勢より觀るも當然の措置と曰ざるべからず然も今後と金の需要狀況を豫測するに鮮銀の利上げ來らずとも市中金利は歳末までに尙ほ一二厘の引締りを見るに至らずやと思はる、從つて利上げ後の財界如何を觀測するに現在の商界は八月鮮銀利上の決行されし當時と異なり綿布商破綻救濟その他の關係上頗る落ち着き居れるにつき這回の利上げは多少商策の手控へを餘儀なからしむる點もあるにはあらざるか又此際として多少左樣の傾向を起さしむるも亦可なり唯金利の引上と同時に貸出し警戒の度を强めざるべからざる程財界の現勢は

上つ調子 に傾き居らぬにつき大商家が取引上に意外の打撃を蒙るやうの事はなからん昨今の如く好景氣の際商人の恐るる所は一二厘の金利にあらずして貸出しの控制にあり又は全く貸出しをなさざるにあり貸附の手心に大なる變更を加へず單に金利の引上をなすのみなればその影響は結局大ならずと見るを妥當とせん更に株式界の近狀を見るに今夏七八月頃の如き熱狂を呈し居らず大體に於て企業の關係上漸次堅實となりつゝありこれ近來株式會社の減少せし理由と見るべし然し乍ら實在株は決して減ぜず寧ろ増加しつゝあり而して此の方面は好景氣の折柄にて金利の

高低を問題 とせざる事一般商界以上なり從つて貸出し手心を均しくする以上這回の利上も恐らく風馬牛ならん

陞敍

稅關事務官寺尾規矩郎氏以下高等官八十八名に對する官等陞敍は二十七日附發令ありたるが內高等官三等以上に陞敍せられたるもの左の如し

總督府判事　和田四郎
同檢事　堀江幸市
陞敍高等官三等（以下略）

辭令
今回左の通り辭令ありたり

總督府屬兼遞信局事務官補　曾我童四郎
兼任總督府々事務官（五等）京城府在勤を命す
免兼總督府遞信事務官補　總督府郡書記　尹滋祿
任郡守（八等）咸南甲山郡在勤を命す　總督府郡守　金徽弼
同洪原郡在勤を命す　同郡守　權泰容
同北靑郡在勤を命す　同郡守　李敬善
同端川郡在勤を命す　同郡守　權泰衍
同永興郡在勤を命す　同郡守　洪鍾旭
依願免本官　總督府判事　坂口喜助
依願免本官　總督府事務官　安武直夫
殖産局商工課勤務を命す　同農務課長　田中卯三
殖産局勤務を命す　同事務官　篠原英太郎
殖産局農務課長を命す　同　牛井清
學務局宗教課長を命す　同　田尻生五
殖産局農務課勤務を命す
兼鑛務課勤務を命す

局部長會議

二十八日午前十時より總督府第一會議室に於て定例局部長會議を開き齋藤總督を始め各局部長並に所屬官署長參集し諸般政務に就き協議する處ありたり

客年度所得稅
人員增加金額減少

大正七年度に於ける全鮮所得稅は其納稅人員四百三十四人所得金六百十七萬四千八百九十四圓此稅額四十三萬九十七圓五十三錢にして之を大正六年度分に對比する時は納稅人員四十人を增し所得金額二十六萬七千五百九十六圓を減じ稅額に於て二萬二千八百二十四圓五十三錢を增加せり斯の如く人員の增加せるに拘らず所得金額の減少を示せるは近時經濟界の進展に伴ない諸事業の勃興を促し多數大小會社の設立を見たるも創立後日尙淺く其の所得額比較的少額なりしに加へ數箇の會社に於て其の營業不振の爲事業を休止し又は解散せしものありし等に由る尙ほ所得金額減少せしに拘らず其の稅額增加したるは所得稅法の改正に因る稅率引上の結果に外ならず

商議員改選と會員賦課金

來る十二月一日改選さるべき京城商業會議所評議員は內鮮人合せて三十名を選出する筈なるが目下同會議所選擧人名簿に登錄せる會員數は一千三百五十二名にして中內地人七百六十三名朝鮮人五百八十九名なり又賦課金の總額は三萬五千八百十六圓九十八錢にして中內地人賦課金二萬六千九百五十圓四錢朝鮮人賦課金八千八百六十六圓九十四錢なり右會員數及び賦課金額を基準とし右三十人中內鮮人選出人員を按分決定する筈なり而して選出評議員は一級二級に分たれ一級に屬するものは現下二十七名にてその中より十五名を二級に屬するものは千三百二十五名中より十五名を選出することゝなり居れるを以て二級當選者は餘程の努力を要すべしと

朝郵營業概況（上）
配當年一割

大正八年四月一日より同年九月三十日に至る第八期前半年度の營績を聞くに左の如し

當半年度末に於ける定期航路は命令私營併せて十六線所有汽船二十六艘一萬三百八十噸傭船四百六噸にして當半年度間の航海回數々百十九回航海里數延長三十五萬九千五百七十三海里其積載貨物十九萬四千七百三十九噸船客十二萬二百四十四人とす

社業年を逐うて進捗し現在航路は殆んど朝鮮全沿岸を繞ると共に近海に於ては仁川芝罘線元山浦潮斯德（大阪延長）線及淸津敦賀線等を營み尙ほ朝鮮貿易の發達に呼應し航路の擴張配船增加の必要ある方面尠しとせず會社經理の基礎を堅實なるものとするに在るを以て次第に穩健なる發達を試みんとす

歐洲戰亂中は市場の船價暴騰し當時船舶の購入は累を將來に及ぼす危險ありしを以て計畫の實施意の如くならざりしが戰亂終熄後船價低落し一面當社命令航路期間の更新期明年三月に迫り業務擴張の機運に熟したるを以て之に要する船舶數艘の建造目下設計中に屬す隨て資力充實の必要を認め前季總會に於て資本金を適當の時期（乃ち船價支拂に必要なる時機）に於て六百萬圓に增額すべき決議を了せり

本季荷客の運輸狀況を概言するに歐洲戰亂中朝鮮方面を顧みざりし社外不定期船は本季に入り出沒するもの漸く多からんとする形勢ありしが內地海運界再び好況を呈したると共に亦其船影を沒するに至り一方朝鮮主要物産たる米豆は相場昇騰し其內地移出甚しく減じ食糧補給のため粟の沿岸各地移入頗る多かりしは好現象なりしに反し浦潮貿易の不振朝鮮騷擾事件、季末各地虎疫の流行に加ふるに昇穀等に因る打擊少からざるものありて今季運輸成績は期の如く好況なるを得ざりしを遺憾とす以下之を各線別に述ぶべし

一、近海航路

元山浦鹽斯德大阪延長線（命令）西比利亞鐵道の輸送力依然乏しく之に加ふるに露貨の下落甚しく且浦潮勞働者放縱に流れ荷役力減退等のため對露貿易不振を極め亦季末浦潮及北鮮各地に虎疫流行のため乘客制限の止むなきに至り船客の移動著しく減少せしも本線に依る沿岸及內地貿易は活況を持續し殊に北鮮輸出の大豆は大豆の價格騰貴のため其出貨潤澤なると阪神より移入する綿布及雜貨は近時次第に數量增加の傾向を呈せり

淸津敦賀線（命令）北鮮地方より大豆の出貨旺盛を極め米豆粕等の移出旺盛なる外城津んと滿洲の盛況を持續すべきものあり復航の積貨依然有るべきも乘客次第に增加の傾向を示せり

仁川芝罘線（私營）朝鮮より靑島に旺に輸出するを例とする米穀は價格暴騰のため同地方には上海米代用せられ爲に其積貨殆と有るべきものなく亦季末北支那各地に虎疫流行のため船客の移動に及ぼす影響尠からざりしも滿洲粟の輸入夥しく原豐麥粉麥酒葉莨等の輸入其他の荷動き良好なるを得たり

募債成効
內地財界好況
有賀殖銀理事談

有賀殖産銀行理事は久しく東上中の處二十七日夜歸城せるが此の東上の用務は過般募集せる殖銀債券の跡仕末を付けんが爲めにて當初債券募集に際し一千萬圓の募集は多きに過ぐ五百萬圓にて可ならんとの說もあり又其の募集時期は例の國際汽船會社の二千六百萬圓の社債發行と殆ど同時となりたるも美濃部鮮銀總裁の盡瘁もあり旁

壹千萬圓 の募集をなしたる處其の結果は締切明日前に締切をなすが如き好況を呈したり殖銀は之れ迄債券の發行をなすこと前後二回前回は大藏省に引受けたるを以て市場に公募せるは這回が最初なり其の最初に於て斯の如き好況を呈せるは殖銀として見ても又朝鮮

產業開發 の上より見て慶すべき所なり殖銀は將來の發展に伴ひ行員の增加を要するを以て先般來東京大阪の兩地に於て之を募集したるに大阪に於ける結果は知らざるも東京に於ての結果は五六十名の採用者を見る事となるべし內地財界は相變らず好景氣と云ふの外なく

物貨騰貴 の爲め生計困難を唱ふる者あるは主として大都市に於て見る現象と云ふべく地方的には好景氣の影響を普遍的に感受せるもの、如く殊に米高米穀高にて景氣の程度も一段良好なるが如し在京中各方面の朝鮮に來訪せる士は其中にも甚での論議も多く談片的資材に基くが如くなるは遺憾とする所にして今後是等の士が頻々來鮮せんことを望む云々

◇財界閑話◇

朝鮮森林鐵道は最近稱せる民間鐵道中將來最も多くの望みを囑されてゐる會社である▲何分國鐵の豫定線であつて將來政府の買收も可能視されてゐるしそれにその伐採權を握てゐる國境大森林の前途は何しろドレだけの富源が藏されてゐるか分らぬのである▲唯鐵道の敷設も伐木も中々不便な土地であるから手つとり早くは行くまいが兎に角鬼が出るか蛇が出るか最も樂しみの多い鐵道である▲それに此の鐵道の伐木輸送と相俟つて新設さるる製紙製材の興業會社の株式も森鐵の株主に優先引受けをやらすの噂もあり株式引受けの要求は各方面より殺到して居るとの事▲津田鮮銀理事の如き大分株式割譲の要求を受けて居るとの事が「僕は株式の事は不關々々萬事は東京です」で逃げて來た▲それでも津田君は本會社第一の發起人について株も五千株は內輪にさるらしいが五千と云へば少ない株でもないけれど大川老の一萬八千長谷川君の八千に比すれば割合に少ない▲その邊に行くと君は案外寡慾だと云ふ人もある、序に新織だ興織だと此の頃君の活動も進み大抵でない▲金利が二厘方上つた株界に多少の影響を及ぼすだらうと觀測せる銀行家もある▲然し株に手を出してゐる者は金利の一厘や二厘を問題として居ない恐いのは貸出しの控制である▲金利の引上と共に株式金融を締むる事となればその影響はあらう或は今一層締めて呉れば株屋を戒むるもよからう

虎疫流行指定地

南鮮地方に虎疫猖々流行の兆あるに依り今回新に全羅南道沿岸及慶尙南道沿岸を虎疫流行地と認め全南大黑山島、可居島、鹿津鹿島及慶尙彌助の各地を檢疫施行場所とする旨三十日告示を以て公布さるべし

陽谷普校認可

京畿道金浦郡陽谷公立普通學校設置の件は豫て同郡守より申請中の處廿五日附認可の指令ありたり

豆滿江林業許可

豆滿江林業會社新設の件は豫て非賢幹氏外十六名より出願中の處二十七日附許可ありたり同社は本店を京城府に置き資本金二百萬圓を以て造林業一般の木材伐採其の他の業務を經營するものなり

牛島燈臺改造

朝鮮南全羅南道濟州島の東方牛島の南端に在る牛島燈臺の構造を鐵瓦造四角形白色のものに變更されたる旨三十日告示を以て公布せらるべし

商議役員會

二十九日午後二時より京城商業會議所にて役員會を開き同會議所定期改選評議員の內鮮人選出數決定の件及び協議事項一件を附議する筈なり

組合意見徵收

朝鮮質屋組合聯合會にては目下內務省にて立案中の質屋取締法改正案が政府案として來議會に提出されんとするを豫想し同時に右に關し東京質屋組合の代表者が頃日當局官憲と之れが取締法に就き意見の交換を爲し其の結果質屋側の意見を提出することゝなりし由を聞き此の際朝鮮聯合會に於ても同業者の意見を徵することとし其結果內地側の同業者と步調を共にして改正案の利害を研究することゝせりと

軍司令官出張

宇都宮軍司令官は元山に於ける重砲兵大隊實彈射撃狀況視察の爲め二十八日朝幕僚を隨へて出張せり

工藤知事披露宴

京畿道知事工藤英一氏は廿七日午後六時より京城ホテルに大正親睦會及び老人契の有力者其他五十餘名を招待し新任披露宴を張りたるが宴半ばにして工藤知事の新任挨拶あり右に對し老人契の殷俊源氏の謝辭を述べ一同歡を盡して九時散會せり

兩課長着任

新任總督府殖産局農務課長篠原英太郎氏は二十五日著任二十八日より登廳課員に對し就任の挨拶を爲し又學務局宗教課長牛井清氏も此程着任二十七日より登廳事務を執れり

野口技師外遊

總督府農務課畜産技師野口次郎三氏は二十七日附歐米各國へ出張を命ぜられたり

◎鮮銀券月報
十月廿五日の現在左の如し

銀行券發行高	三二、八九七、四〇八
正貨準備	二六、三九〇、九二一
保證準備	六、五〇六、四八七

人事

▲伊東四郎氏（京城電氣會社支配人）二十八日朝入城天眞樓へ
▲ヒントコンチヤ中將（露國利前參謀總長）二十八日朝退城北行
▲中野繁氏（鮮銀大邱支店長）二十六日夜入城

鷹賀川柳（二十）
劍花坊先生選

貧の盗み

知つて居て盗んだざいふ餃ケ橋　大田　多旬坊
武士は食はねど盗人の親仁泣き　旭町　曖調子
食ふ粥も無く盗泉の水を飲み　吐子町　弓八郎
喰はれないからこそ人あはれ也　京城　醉候
目の見ねぬ父親を持つ小泥棒　大邱　德磨
サーベルの錆びるも貧の盗みなり　龍山　白萩
月給で食へないからと恥にせず

其の日

◇最高會議はウィルソン君に欵し、第一回國際聯盟會議につき、聯盟各國に召集狀を發すべく要求したりと傳へらる。ウィルソン君が直ちに之れを承諾するや否やは頗る問題たらずとせず。何となれば米國にては聯盟批准迄は、如何なる會議にも委員を派遣せずと聲明し居れるに非ずや。聯盟がウィルソン君個人の關係を以て召集せば、或は直に召集の承諾を與ふ可ならんも苟くも米國を代表するウ君たらば、委員不派遣を排して迄も之れが承諾を爲すや否や。將又最高會議は、聯盟不批准者に對しても、批准者同樣の取扱を爲さんとするか。然れども米國は、聯盟の發頭人なれば、批准如何を問はずと云ふか。

◇國際聯盟と好對照は神聖同盟也。神聖同盟の當時、野心滿々たる列強の帝王政治家が、今回と同じくリーグ、オブ、ネーションなる名稱其儘を使用して國際平和の美名の下に、各自の野心を滿たさんとしたるは事實也。今回會議の勞頭に於て、崇高なる恒久平和、戰爭防止の大計を議せず。第一にザール河流に於ける、佛國炭田管理委員任命をなすが如き、一小利權問題に各國の大政治家が虛々實々の腕を揮はんとす、僅に申譯に過ぎざるの觀無くば非ず。何ぞそれ神聖同盟と選ばざる、泰山鳴動して鼠一匹の感は、或は喪士の一綿論か。

◇露國過激派の凋落と共に、又過激派首領ペルモンド大佐は米國の參加を切望す。フォン、ゴルツの獨變、ユーデニッチ軍の行動、其背後に何者かの潜在せるは世人をして首肯する處あらしめ。或は米國上院に於て、獨逸植民地の放棄を言明する聲露獨米間に棚引ける一種の妖雲あるに非ずや。孤立せんとせし米國が、却つて英國を孤立せしめんとするの觀無きに非ざるは、國際聯盟も、益々眉唾の氣價を現はし來らんとし、舞臺は尙ほ一廻轉を要す。

株式會社支店設置
商號株式會社湖西銀行、本店忠淸南道禮山郡禮山面禮山里壹百五拾七番地ノ貳、支店京畿道安城郡邑內面東本里貳拾九番地、目的一般銀行業、設立ノ年月日大正貳年五月貳拾壹日、資本ノ總額金壹百萬圓、一株ノ金額金五拾圓、各株ニ付キ拂込ミタル株金額金貳萬四千株ハ金拾貳圓五拾錢、公告ヲ爲ス方法朝鮮新聞紙ヲ以テ之ヲ行フ、取締役ノ氏名住所京城府麻浦洞參百拾番地金鐘奨、忠淸南道禮山郡禮山面禮山里壹百五拾九番地成樂奎、同道同郡同面同里五百五番地俞鎭相、同道同郡同面同里壹百拾四番地成樂奎、同道同郡同面同里參拾番地、同道同郡吾可面月谷里四番地鄭斗和、同道同郡禮山面禮山里張錫九、監査役ノ氏名住所忠淸南道禮山郡禮山面禮山里壹百貳拾壹番地崔圭錫、京城府壹百六拾貳番地李慶世、存立ノ時期滿參拾箇年
右大正八年拾月貳拾貳日登記
京城地方法院安城出張所

靜岡縣人會
時局の爲め會合差控へ居り候處旣に平和克復、殊に昨今同縣人の數を加へ候折柄、新舊官民の交宜親睦を圖り度、十一月一日午後六時より千代本に於て秋季大會を開催し兼ねて靜岡縣關係の名士を招待可仕候間右御賀同の上萬障御繰合御出席の程御勸誘申上候
追て出席の方は左記へ御申込相成度會費（五圓）は會場にて申受候
京城本町二丁目京城銀行內　峯尾音二郎

朝鮮總督府遞信局
購買組合指定店
和洋雜貨販賣　京日代理部

種子用　水撰種　くぬぎ
種子用　食用　楊州栗
種子用　食用　平壤栗
收穫用　副業用　農器具（本場直從產）
例年の通發賣す多數御用命を乞ふ
京城本町三丁目　朝鮮の元祖
京城勸農園　電話七〇四番　振替京城五六番

早稻田大學講義錄
總長　大隈侯爵
政治經濟科　一般國民に受驗者に必要
法律科　何人にも無二の顧問にし受驗者の好資料
文學科　專門研究者に限らず萬人必讀の講義
●新學期—入學の最好機は今
見本及規則書　申込次第無料贈呈
中學科　中學校に入らずして中等教育が完全に修め得らるる獨學
商業科　戰後商業界に最も適切なる活學問
申込所　東京牛込早稻田
早稻田大學出版部

雨か風か……!!
兩軍次第に接近
漢江平野の大練武
衝突地點は永登浦
於永登浦　矢橋特派員

漢江左岸に進出し師團の作戰を容易ならしむべき東軍支隊は既報川方向より西進し二十七日夕京城東北七吉米突鳳凰洞及其の以地區に達して宿營せり、支隊長は北夕ニ三諸兵連合の敵が

仁川附近 に集合中なる事を知るこの想定ニ『二十七日午后五時より對敵行動に移るべし但支隊本部の宿營地は變更するを要せず騎兵部隊及び諸斥候は前項の時刻より漢川以西の地區に進出する事を得二十八日午前六時步兵部隊の先頭を以て

漢川の線 を出發すべし

この制令に依り東軍支隊長堀大佐は敵と遭遇を豫期し九老二里に向つて前進すべく決し先づ是に對し騎兵をして成る可く速かに仁川方面の敵情搜索に當らしめ步兵小隊工兵二分隊をして午後五時忘發里を出發せしめ

漢江の橋梁 を守備せしむる處置を取つた、東軍の兵力は步兵第七十九聯隊（一大隊缺）騎兵第一中隊（二小隊缺）野砲兵第一中隊工兵第一中隊（一小隊缺）輜重（假想）等である

西軍の想定

西軍支隊長堀田大佐が與へられたる想定と示されたる制令は寔に次の通りである

想定 漢江右岸地區に進出し師團の作戰を容易ならしむべき西軍支隊は二十七日夕迄に仁川附近に集合を完了す、支隊長は廿七日夕迄に諸兵連合の敵が川方面より前進し本日午後一時其の步兵先頭を以て京城東北約五里金谷里を通過せる事を知る

制令 二十七日午後五時より對敵行動に移るべし但支隊本部の宿營地は變更するを要せず、騎兵部隊及諸斥候は前項の時刻より仁川東方約四吉米石岩里三叉路石岩里南方約二吉米官校里東端を連ぬる線以東の地區に進出する事を得、二十八日午前六時步兵部隊の先頭を以て石岩里三叉路官校里東端の線を出發すべし

漢江を中心に　小衝突起る

依つて西軍支隊長堀田大佐は是に對し本洞里に向ひ前進すべく決心し先づ步兵一中隊官校里に步兵一小隊を出し警戒せしめ步騎兵各一小隊を午後五時發

京城に向 ひ前進せしむべき處置を取つた兩軍支隊長は何れも遭遇を豫期してゐる忘發里と仁川とは約十二里其の中間永登浦附近である、恐らく此の附近で衝突は免れまい、假に行軍力を一時間一里半とすれば六里で四時間を要する兩軍の出發が午前六時であるから衝突は遲くも

十時前後 であらう午後八時東軍の騎兵は既に鷺梁津に達した、夜をこめて漢江を中心に小衝突は屢起る。西軍支隊の兵力は步兵第七十八聯隊（一大隊缺）騎兵一小隊、野砲兵第二中隊工兵一小隊輜重（假想）等である（二十七日夜九時）

齋藤總督觀戰
銃聲轟く中に莞爾として機敏なる行動を賞す
全軍の士氣更に昂る

壯烈なる機動演習を觀戰すべく齋藤總督は村田少將、東條大佐伊藤秘書官其の他を随へ自動車にて二十七日午前九時永登浦の西南約九老二里の高地に來り秋晴の丘上に立ちて兩軍接戰の狀況を親しく視察したり海軍大將の

通常服を 着し手には双眼鏡を持ちたり久しく振りに郊外に出でたを悦こて顏面に微笑を湛へ『中々好い景色ぢや』と四顧回する裏に又も北折兩西軍の主力は同高地を占領し間もなく前面に現れ兩軍攻擊前進す砲聲銃聲機關銃の音は交り

宛ら實戰 を見るの思ひあり總督は滿身に秋晴の日を浴びながら飽かずにこにこして村田少將より說明を聽取し其の步兵の展開を指揮し『死で疾風のやうだ』と其の敏活なる行動を賞し喊聲を擧げて突擊する白兵戰を眺めては『中々勇ましい』と云ひ斯くて同高地を降り再び自動車にて永登浦

監獄分監 の高地に至り遭遇戰の狀況を大野軍參謀長より聽取し兵卒の飯盒を開ける狀を莞爾として眺め十一時過ぎ京城に引返したるが總督が何等警戒をもせしめず突然演習地に其の颯爽たる英姿を現はしたるは全軍の志氣をして更に振興せしむるものありたり（永登浦特派員發電）

演習雜記
統監部より
眼も廻るほどの忙しさ

永登浦に於ける統監部は停車場前の濱田屋旅館に設けられてあつた、兩旗が交叉された門を潜つて階上の控室に飛び込むと其所には顏馴染の吉永參謀や足立副官や千綿副官などが忙がしさうに事務を執つてゐる『遠路に早く來ましたね』とくりくりと肥つた林檎のやうな頰を輝かしながら吉永參謀は笑つた。自分は想定などを貰つてから演習統監奧田將軍の居室にノックした。將軍は端座して熱心に地圖を展げてゐた。私を見るなり『やア來ましたね、御苦勞です、さ、御座り下さい』と自ら座布團を取つて勸める『生憎天候が定まらなくつて可けませんな』と云ふと嫣然『いや却つて好い、雨が降らば降れ、吹けば吹け、風雨ふべきに變ふるに足らず、あらゆる困難が伴なふ戰爭にはこそ興味が一層深い、艱難缺乏に耐へ克つの精神を養ふべく天が斯うした絕好の機會を與へてくれたのぢやらう』と硝子越しに窓外を眺める、風は颯々と唸つて木々の梢を騷がせ、濃鼠色の雲脚は頻りに迷ふてゐた辭して再び幕僚室に戻り、想定に基き地圖を展げて見た。統監部は旅館でこそあれ、執務する部屋は疊の上でこそあれ其の忙しさは實戰と異ならぬ程、電報が來る、電話がかゝる、傳令が來る、副官は立つたり座つたり眼も廻る程に忙がしさである、隣の室では幕僚が何れも机に對して事務を取つてゐる、煙草の煙は濛々として室に溢れる、

電信隊長志賀中尉が歸つて來て吉永參謀に架設完了の報告をする、吉永參謀は『いや御苦勞でした』と禮つてから副官を顧み『君！この事を島渡統監に報告して置いて吳れ給へ』と云つて其も肥滿せる身體を持て餘すもの、如くゐずまゐを正した、膝の高さが一尺餘りもある『瘦せる工夫はありませんかなア』と子供らしい笑ひを見せた。志賀中尉は靑島戰では中央堡壘で殊勳を奏し西伯利事變では野戰支隊の副官として活動して居た痛快な靑年である。言語明晰、いつもながらキビキビした態度が嬉しかつた、中尉の談に依ると電話架設は永登浦を中心に鷺梁津、梧柳洞間約二里であるさうな。

私は兩軍支隊長が、互に敵情を知つて如何に決心し如何なる處置を執るかゞ知りたかつた、兩軍から來る報告の結果に依つて自分は自分の任務の遂行を期せなければならぬ、風は稍冷いやうであるが冷氣が身に迫ふて來る、兩軍共五時の合圖に對敵行動を取るさうだから、何れも一度は敵に戰はなければならぬ、水鳥が鳴いて渡る、今宵は雨か風か（二十七日夜小蛇生）

豫言者宮崎虎之助君　左は同君の愛嬢照子（一〇）

「生神樣」語る
『私はメシヤであり佛陀である』
牢として侵し難き其信念

目下滯城中の豫言者宮崎虎之助君を永樂町一丁目の旅館俊次郎氏方に訪へば所謂『神樣』は長髮を双肩に垂れ

底光りの ある瞳をその奧に潛めてお居る先づ入ると對座する徐に悠然たる容姿を以て合掌する初對面の人は其の運主義者かとも思ふであらうが一度その口を開くと『私は廿世紀に後に對する心靈界の大革命を行ふ爲に出現したのであります、そうして此の崇高絕大の任務は太來の

自覺より 來たのであります、それ故に私は基督教に於けるメシヤであり佛教に於ける佛陀でありますと前提して『そこで若し世間が私の信念を嘲弄し迫害し悲慘の十字架に於ける如く釘づけて無殘の最期を遂げさせるとも私の宣言は結局無限大の宇宙の大事實なのであります

無限大の 靈界に靈動して無限大の宇宙に磅礴するのであります、獨り空間的ばかりでなく時間的に於ても永遠無窮に活存するのであります』と云ふその南當を揮發して滔逝の資金に言ひ來り說き去る態度には動かし難い信念の萌芽を認めさせる近來稀に見る好々爺であるが傍の

照子孃に 就て嬢が雄辯家たるの噂を訊せば微に笑つて『先日ある所でしたんですけど何だか想が纏らなかつたわ』と云つて十歲あまりの子供に似合しからぬ口を利く尚は宮崎君は海外に自己の思想を普及する爲め旅費を得る爲各地に於て得意の南譚を揮發し一般の需めに應じて居る

兩會社罷業
解決近し
職工側折る

罷休後の東亞煙草會社にては二十八日午前より午後に亘り仁義洞の同社製造所事務室に馮詰常務以下會合幹部會を開き愈々最後の斷案を下し善後の處置に出づる筈なれば旬日に亘り暗雲に鎖されたる同社の罷休騷ぎも一兩日中には一段落を告ぐるに至らん尙ほ朝鮮煙草會社に於ても東亞の形勢觀望中なれば東亞の解決奈何に依りて其態度を明かにす可く現在の情勢より推せば職工側が殆ど無條件同樣に其主張を撤して結束を解き會社側に於ては能ふ限り周圍の事情を考察し職工側の善意の希望を參酌に加へ現下に適應するに足るの待遇法を講ぜんとするもの、如し兎に角資本家勞働者の區別なく刮目して其解決奈何を注視しつゝある際なれば兩社共に愼重なる態度を以て事件の解決に全力を注ぎつゝあり

官民の歡迎
演習と永登浦

始興郡を中心として催さる第二十師團の秋季機動演習に對し永登浦にては既に歡迎委員を設け其の準備中なるが內鮮人官民有志者は二十七日面事務所に會合し歡迎方法等に就き協議を遂げたる由

師團長の招宴

演習終了後即ち二十九日午後四時より淨法寺師團長は永登浦官民有志者を同地公立尋常高等小學校に招待し慰勞の宴會を催す由

祝盃を擧げつゝ
京城に凱旋せる佛國勇士
エミール・マルテル氏の戰爭談
歡聲湧く勇士の家
『倦て何から話しましやう』

故國の難に赴いて前後五箇年の間を佛獨の戰線に送つた京城在住の佛人エミールマルテル氏は八月下旬マルセーユを發して歸鮮の途に就き、ツイ一週間程前から

再び温かい 家庭の人となつた氏は曾て京城外國語學校長として敎鞭を取つて居た人だけに日本語も巧く話せる。二三日前のことである、記者は氏が歸宅の報を聞いて北米倉町の邸に訪問した。玄關のベルを押したとき室內からは賑やかな歡談の聲が漏れて居たが氏は快よく記者を應接室に導いて吳れた。

盛花と煙草 の香りが快よく立て罩めて居た。マルテル氏は今年四十五歲と云ふことであるが年よりは若く見られる。それは髯髭を蓄へた赭ら顏の美男子であるのと一つは堂々たる體格の持主であるからであらうカップに泡立つビールの祝杯を擧げてからイザ戰爭の物語と云ふ段になると

お客や夫人 は慮して外出の用意をする。外出しがけに令息を伴れた夫人が『私達が居ては却つてお邪魔でせうから一寸遊んでまゐりませう……どうぞお悠つくり……』と愛嬌を殘せば主人のマルテル氏は『それが可い、話を聞けば涙の種だからね……』と氣輕に笑ふて見送る。夫人は『どうも此子供がお父さんをお客さま使ひにして困りますよ』と云ふ令息を伴れて戶外に姿を消す。氏は

葉卷を啣へ 爽やかしい顏に微笑を湛へながら『サテ何から話しましやうか、いや話すとなれば、とても纏つた想へも浮かびませんが……』戰爭談の緒を辿

（寫眞はマルテル氏の家庭）

技術官決議
待遇問題の改善を期す

廿七日午後六時より南米倉町京城俱樂部に於て理學工學士等より成る在官二部聯合會を開催せし在京者全部五十名一名の缺席なく頗る盛會を極めたり同會は會員の親睦及向上を計るを以て目的とし同日を以て其の發會式を擧げ席上に諮り一致左の決議を爲す

技術は國家社會の進運に極めて重要なるものたるに拘らず技術者の待遇今日の如くんば國家將來のため憂慮に堪へず之に對し緊急の處置を採る事

戀の寢刃
振威の女殺し

京畿道振威郡西炭面馬頭里百九十八番地丁奎鉉（三）は嘗て隣家なる同里百九十九番地李妙童の妻洪姓女（三）に思ひを寄せ本月二十三日午前二時頃李妙童の不在に乘じ洪姓女の寢室に忍び込み不義を强要したれども洪姓女は冷然是を拒絕したるより若し目的を遂し得ざれば殺害せんと深く決心したる丁は矢庭に懷中に秘めし庖丁を振り上げ洪姓女の頭部及び其他數十箇所に滅多斬りに切り付け殺害して逃走したるが振威警察署にては急報に接し犯人搜査中の處二十四日自宅に隱れ居たるを突止め逮捕し目下同署にて取調中なり因に被害者洪姓女は妊娠七箇月の身なりし

自動車で宣言書を
嚴重に警戒中

一日の天長節當日自動車を利用して市中に不逞運動を試みんとして企て既に二十三日上海より右宣言書多數京城に到着せりとの說ありそれかあらぬか官憲に於ては目下嚴重警戒中

不逞學生檢擧
當局一步も假借せず

近時京城鮮人學校生徒間に不逞思想を抱き不穩の言動に出づるものあり善良なる生徒の前途を擾して或は脅迫し或は宣言書を配布して登校の妨害を企てつゝありしが此程鍾路警察署の手に於て府內貫鐵洞一三〇京城公立高等普通學校生徒李富寅▲同康洞一八同校生徒吳星煥▲同坪洞一五二同校生徒金一漢▲古市町三二慶運方同校生徒林雲基▲陳洞一二同校生徒閔宗植▲安國洞三四公立高等普通學校生徒金定勳五名及高陽警察署の手に檢擧されたる今後此種の不逞學生に對して當局は一步も假借せず根本的の檢擧を斷行し嚴重に處分する由

傳染病

本町二丁目九十九番地白發靜子（十二）は二十六日猩紅熱にて順化院に收容され通學中なりし日の出小學校は廿七日大消毒を施さる▲楊南洞九十四番地李扇珪（二七）は二十七日腸チブスにてセブランス病院に收容

軍人會遙拜式

在鄕軍人京城分會にては來る卅一日午前十時憲兵隊集會所に於て天長節祝日遙拜式を擧行すべしと

菊の話（中）
歷史的に觀て
ドクトル工藤武城氏談

日本獨特 の歷史的發達を遂げて來たものは中菊若くは正菊でせう。大菊は寶永頃、小菊は享保頃に觀賞されて居たやうですが中菊正菊は約百八十年前から傳統的の發達を遂げ支人は何れも中菊正菊に限つて觀賞して來たものです。此の中、正菊即ち狂ひ菊の正統として傳へ語呂から云つても色から見ても黃菊は詩に適はしく、白菊は此によろしい。此點から見ても黃菊は支那から傳來し白菊は日本に於て特異な發達を遂げて來たもの、と想像されます。形から云つて最も

三要素が あります。それは平瓣、匙瓣、管瓣であつて開き方も亦三段の順序を經ねばなりません。即ち花蕾を破つて花瓣が現はすが十日目、花瓣を維持する十日間、花瓣を包むまで十日間と云ふ風に約三十日間にすべての變化が順序よく行はれなければ上等とは云へません。夫から東京などで催されて居る菊花品評會の

點の採り やうですが假令へば滿點を百點とすれば、土の形容二十五點、葉と花の配合具合を二十五點、花の容二十五點として見てあります。して見れば花だけ立派でも無論駄目だと云はねばなりません。つまり以上述べた條件に適はなければ完全でないから出品者諸君も其用意が必要ではないかと思ひます。

同情

『眞に人生の悲劇』と題する記事の主人公宮川萬藏氏の遺族へ同情し左の通り本社へ申込みありたり

▲金五圓　元山府謗町柏井祭次郞
▲金壹圓　府內南米倉町祭登識

運動界
醫專軍勝つ

殖産銀行對醫學專門校の庭球戰は廿六日午前十時より擧行醫專軍優退二組不戰一組を殘して大捷せり

殖銀　醫專
郷　野田……田中富川○
○瀧　櫻庭……田中富川
◎瀧　櫻庭……佐々木古屋
金　堀……平良福島○
中村近藤……平良福島◎
來島飯野……久保小野○
瀧　櫻庭……久保小野◎
醫專不戰　平山久保田組

紹介

▲田中工作所の突貫出し　館山通江通（元電氣會社前）田中工作所にては開業十周年記念として鐵板葉ストーブ用焼突五千本を限り市價より二割安を以て賣出を開始したり

灯頃

不逞鮮人の一派は此頃手段をかへて頻りに勞働者側を煽て、居るさうだ▲最近所にチョイくー勃發する罷業の裏面には黑い影が蠢いて居るやうに見ねる▲其證據には罷業の起るのは內地人經營の會社ばかりで鮮人經營のものには其の氣もない▲鮮人經營の方が手當が好いかと云ふに內地人の方が倍も出して居る勞働問題も悠う惡用されては困ることは某重役の零し話し▲暮日前黄金町三丁目交番でツルマキ姿の鮮人刑事が內地人の一人を電車から引摺り下ろしてポカノくと盛んに毆つて居た▲理非は兎も角手向ひぬ內地人をツルマキ姿で公衆環視の前に打ち叩くなどいふ事は從來餘り見ぬ現象▲叩かれた車職人が告訴すると敦圍いて居たのら無理ないと其の時の實見者が憤つて居た

連絡船上來客

外人七名（二等）六七名（古賀才鐵吉、佐藤榮吉、金往與、小倉幸、江崎次郎、北村茂太郎、山本外治、同はつゑ、同正治……）[illegible]

仁川期米　二十八日後場　反動高　[illegible]

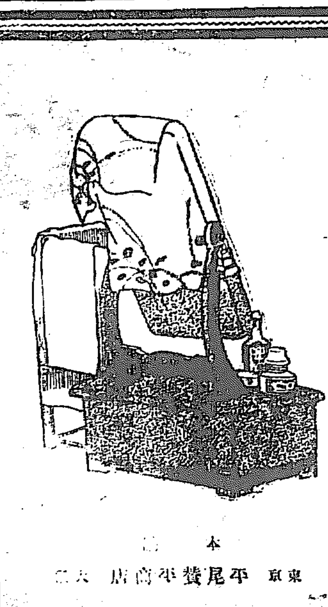
みゝ丸安等の買物に三十六錢ご弱み……[illegible]

氣象　天晴　[illegible]

レート白粉

御心配なく
お肌の荒れを防ぎ美くしいお化粧が
美事に出來る

レート白粉の特長は地肌から美くしくし、自然に白さが浮き出す点にあります。地肌を美くしくするのは、レート白粉のみに配伍されてある、最新發見の新美容料の整美作用で、日焼けや肌荒れは、これが爲めに美事に止めます。斯く地肌から整へてゆきますから、白粉の附り伸びは良く、決してお化粧崩れなぞ致しません。そして、レートの白粉原料は充分精選されてありますから、附けた白さに色艶があつて頗る上品で美くしく、お化粧晴れの、冴え冴えとする事、附けた御自身が恍惚する程でムります。其證據には只の一度の御使用で、貴女のお化粧が、がらりと變つて美くしくなるのに屹度驚かれる事でムいませう。



本舖　東京　平尾贊平商店　大阪

第五版

馬賊に捕はる迄 小說以上の奇談
想像外の無法なる待遇 酒井親輔氏談 (二)

食事は何にも無いとて一向取り合ないのを其の素的でも宜いから兎に角何か食事を作つて異れと命じて居ると折しもドカ／＼と這入つて來た足音に思はず振返ると１２５とした標章を付けた

四五人の支那兵が腰部に銃を擬しながら自分に迫つて來て周圍を取り卷き其中の頭目らしいのが進んで出てお前の姓名は何かと聞く自分は日本人であると答ると

オヽ日本人かソレは結構であると微笑を含んで其れから住所より用件等を尋ね一々聽き取つた上表へ出たかと思ふと今度は門口に待つて居た地主を始め三名の支那人を引き連れて來て一行四名の持物全部を奪ひ取り其れを一括して風呂敷に包み込み著て居た支那の長著を脫して籠絡で小手をがめたのみか二人づゝ一組にして亂暴千萬もに堅く

縛り上げて其儘我々は何處ともなく拉致される事となつた門口へ出ると周圍を監視して居た十名近くの矢張り支那兵は直ちに先登に立ち數名は背後を守つて中に我々四名を挾み全部騎馬で暫らく元來た路を引返したが其中に傍の路も無い藪の中に入り込み進む事となつた此の邊迄は何分

咄嗟の出來ごとである上服裝が亦全部軍服である爲め若しやと云ふ疑念は有りながらも全然馬賊とは信じ切らず何故支那兵が我々を縛つたのであらう位に考へて居たが漸く往還して見ると不審の點が段々現はれて來た成る程服裝は可なり整うては居るが中には帽子も冠らず例の苦力等が好くする布片を以て頭を卷いて居るものもある此れよりも第一に

其武器が區々であつて其の多くは支那の舊式銃を持つて居るが中には露西亞の銃を持つて居るのもある亦我が三八式の新式銃を所持して居るのが三人と同じく我が三十年式の騎兵銃を持つて居るのが一人あつた其他疑問が解けるに從ふてサテハ愈々馬賊と體認した時は既に遲く最早二三の川も打越え街道より遠く離れた彼等の巢窟に近い森林中を馬上の賊徒に

叱咤されながら縛めの身を起して進むのであつた元來三八式の銃と云ひ三十年式の騎銃と云ひ何れも日本の[illegible]國の手で造つたものであり殊に其の騎銃と云ふのは未だ

自分が一年志願
兵當時に始めて使用された自分に取つては實に緣の深い銃であるが其れが眼前自己を脅かす唯一の兇器にならうとは一種異樣の感慨に打たれたのであつた。

各地の天長節

仁川官民祝賀會
平和後第一回の天長節は市民擧つて奉祝せざるべからざるは勿論仁川に於ても市民の一大祝賀會開催の事に決したり當日は晝夜十發の花火を打ち揚げて滿港に奉祝の誠意を捧ぐべく午後一時よりは仁川公立尋常高等小學校(寺町)の雨天體操場に於て祝賀會を開き卓を圍んで立食の乾盃を爲して萬歲を三唱する筈會費は一人前一圓申込所は仁川商業會議所なりと

釜山の擧式祝宴
三十一日は天長節祝日に當り本田府尹は前日十時より十一時に至る府廳樓上に於ける御眞影の拜賀を一般公衆に許し同正午よりは龍頭山神社にて祝宴を催すと

西伯利土產

困つた日本人の共食ひ 鮮妓月に五百金
慰むる酒が仇となる

最近西伯利奧地を視察して歸來せる某氏の談左の如し(哈爾賓)

西伯利本邦商人は漸次發展の域に進み居れるが目下は家屋の拂底にて一時停滯の狀態にあり一體日本商人は何處に於ても一致に友喰的乃至我利々々的行動をとるのみにして曾て協力團結して外敵に當り共同發展をなさんとする念なきは

慨嘆の至りなりのみならず邦人同志が互に敵視し惡口雜言を放ちて應酬し合ふ樣は眞に吾をして目を蔽はしめたり滿洲里の如きは露支蒙の三箇國に跨る土地にして若し對露支並に對蒙貿易を營みてこそ此地として價値多き所たるに此處に在住の邦人四百名中對外貿易に從事する者皆無の狀態にて多くは日本人相手の雜貨居理髮店料理店及び

醜業婦なり之れ自分が友喰主義と云ふ所以なりこれに反し英米人は在住者極めて少きも堂々門戶を構へて著々大事業を興しつゝありて實際大なる成功を收め居れり是は何に因由するかと云ふに日本人は一定の地に永住して有終の功を收めんとする遠大の計畫と

粘着性とを缺き利を逐うて西に東に轉々するが爲と他の一因は海外渡航者の大部分が獨身者にて日を經ると共に寂寥と懷鄕病に囚はれそれを慰めんが爲め自然と酒に親しみ女に走る結果自暴自棄となりて

落魄流轉するに至る滿洲里にては一般に商況不振との事なりしが料理屋は繁昌を極めたり當地にても邦商人は最新諸種の法令發布の爲め手も足も出ず殆んど休業の狀態なるに一夜に醉きも十圓高きは十七八圓の遊興を敢てする下町又は

朝鮮町の遊廓が同相當の客を呼び遊女一人一箇月平均五百金を得ると云ふ事なるがこの金は何人が出すものなるや軍人もあるべし然れども支那人の遊客殆んどなき今日その大半は商人若くは彼等の使用人が出せるにあらずや

斯くの如き狀態なれば自分は海外渡航者は必ず夫婦者たるべき事となす必要を認むるなり彼等が相共に來りて大遼萬里の異鄕に新家庭と共に新國土を創造する覺悟を以て來り任せば恐らくは從來の弊風を一掃し得らるゝならんと思はる(哈爾賓)

▲奇妙な病▼ 發病後胸腹等に腫れた凝り生じ半日位笑つて翌き午ら死する奇病山東省に流行す

▲苦力技師▼ 渡歐支那苦力の歸國者を重用せよとの議起り中に技師學校講師等に任用さる者多し

▲公爵車夫▼ 北京に住居せし公爵趙玉は一家六人暮しの爲め家計に窮し遂に車夫に零落れたりと

▲購買組合▼ 滿鐵は社員の日用品を廉價に購入せしむる爲め十一月一日より購買組合を開始す

▲電話緊騰▼ 安東縣にては電話の賣買盛んにて本年末長距離架設と共に二千圓臺を突破すべしと

清津と青島
北鮮對支貿易經路

此程北鮮地方を視察し來りし青島在住の實業家飯島康吉、伊藤正房兩氏は左の如く語る(清津)

清津港が將來東洋の大呑吐港の一として主なる取引先は地理上山東支那貿易港として對內地貿易港として青島を敦賀を對內地貿易港となさゞるを得ず何となれば現在兩地に於ける輸出入貿易としては主として山東原綿及び間島琿春木材の類なるが今後益々取引密接、頻繁を加ふるに從ひて漸次双方の特產物を交換するに至るや明かなり、現今青島に在留する邦人は二萬四五千あり猶逐日增加の盛況にあり又最近に至り內地の諸大

紡績會社の工場相踵いで建設され將來大工場地として囑目されつゝあり、而して勞働問題の喧傳されつゝある現下に於て彼の豐富なる山東苦力を控へ又燃料としては博山炭及び四川炭の廉價なるを有するが故に工場地としては將來東洋有數の好適地なるべく又一方には有名なる山東牛肉及牛油皮革類の內地及浦鹽港に仕向けらるゝもの

原鹽輸出と共に將來は清津港との直航開かれざる可からず而して其復航には必ず清津港に依る奧地及び間島琿春地方產木材並に穀類其他の輸出運行に從事せざる可からざるに至るべし左れば北鮮、西伯利及青島の發展活躍は相關聯して離る可からざる因果關係をなし居れり

醸造業有望
清津地方に於ける清酒燒酎醸造の有望なる事は夙に一般の囑目する處にして本業に從事する者は孰れも相當の成績を擧げつゝある狀態なるが今回清津俵藤三郎平慶三兩氏外三四の有志相集まり株式組織を以て資本金五十萬圓の會社を設立し斯業に從事せんとの計畫を立て昨今前記兩氏に於て發起人及賛助員等の持株數取り纏め中なるが其成績頗る良好にして殆んど滿株に達すべき趨勢なれば假令若干公募するに至るも其數は蓋し僅少に過ぎざる可し而して發起人賛助員等の申込數確定せば調印を終り直ちに發起人會を開き定款其他を附議したる上會社令に基き其筋に向つて會社設立の許可を申請する筈なりと(清津)

鮫銀增資(安東縣)
鮫川站、安東縣、遼陽方面の有力家によりて發起せられたる資本金五十萬圓の鮫山銀行發起人會の決議により更に五十萬圓を增加して公稱資本金百萬圓にする事に決定したりと

○炭また昂る(光州) 一貫三十二三錢臺なりし光州の木炭相場は數日前來の寒冷の爲め需要を喚起し之に伴なはざる在荷量の炭價は一躍五六錢方の聚騰を來し目先强く一貫四十錢臺を突破すべきに依り一般に今より嚴寒に近き木炭相場を杞憂されつゝあり

清津の虎疫
寒氣と共に終熄す

一時再燃を氣付かはれたる清津の虎疫も案外速かに終熄の兆が萌して來た新患者も平均三日に一名位の割合に出現するが之も漸次減少の傾向を示して居て大勢は已に定まつた、此上はコンマ、バチルスの越年を極力防止すれば夫で後を絕つてしまふ、地方から應援に來て居た防疫係員も漸次引き揚げるであらうし近く新岩洞全洞に亘る消毒的大清潔法を施行して一段落を告げんとする形勢になつて來て市內も餘程景氣付いて來た、十八日現在の患者累計は百三十四名にして內全治十八死亡八十九現在二十七名なるが終熄明までに百五十名にはなるまいと云ふ係員等の豫想である(清津)

商況

株式

東京現株 至急電報

銘柄	二十八日中値 掛込	時價
鮮銀	一〇〇、〇〇	▲一四六、〇〇
同新	七五、〇〇	△一三一、〇〇
東拓	五〇、〇〇	△一二四、〇〇
一新	三七、五〇	△八五、五〇
二新	一二、五〇	……
朝銀	五〇、〇〇	九五、〇〇
東亞	三二、五〇	氣配安し

大阪株式 至急電報

銘柄	二十八日前場寄付	二十五日後引比較
大株	三八、〇〇	
同新	三七、九〇	
郵船	二四一、一〇	
同新	一三二、〇〇	
商船	一六四、一〇	
同新	一四一、二〇	
鐘紡	三八九、八〇	
同新	三六七、五〇	
東紡	二七七、〇〇	
東棉	一六五、〇〇	
堂米	一七七、〇〇	
上取	一八六、九〇	

京城現株 標準値段

△印騰貴 ▲印下落

銘柄	掛込額	時價
仁取	二五、〇〇	△一八〇、〇〇
朝郵	二五、〇〇	四二、〇〇
電興	一五、〇〇	二八、五〇
皮革	二〇、〇〇	二五、五〇
東畜	一二、五〇	一五、〇〇
朝紡	一二、五〇	△二八、〇〇
朝紙	一二、五〇	三七、〇〇
商銀	五〇、〇〇	五六、五〇
同新	一二、五〇	一八、〇〇
滿毛	一二、五〇	△五一、〇〇
滿糖	一七、五〇	△四二、〇〇
朝煙	四〇、〇〇	三二、〇〇
鮮土	一二、五〇	二一、五〇
東亞	一二、五〇	四五、五〇
葉煙	一二、五〇	三三、五〇
仁倉	一二、五〇	一五、五〇
製粉	一二、五〇	一九、〇〇
朝日	一二、五〇	一四、五〇
朝綿	一五、〇〇	二二、〇〇

出來高平均値

銘柄	平均値	出來高
仁川取引	一八〇、〇〇	一八〇〇
東亞新	四五、〇〇	二五〇〇
朝鮮紡織	二八、五〇	四五〇〇
殖産銀行	九九、五〇	一二〇〇
朝鮮皮革	二五、五〇	三〇〇
安東信託	二〇、五〇	一五〇〇
鮮銀新	三四、〇〇	一〇〇〇
朝日醸造	一四、五〇	三〇〇
殖鐵櫃利	七、五〇	三〇〇
滿蒙毛織	五一、五〇	二〇〇〇
朝鮮煙草	三一、五〇	一〇〇
大阪商船	一一、五〇	一〇〇〇
大正水力	一五七、〇〇	三〇
日本水力	一五、二〇	一〇〇
富士製紙	七六、〇〇	六〇

仁取氣配呆け
仁取株は今朝來聊か氣配呆け込みなり安値は八十圓臺下に陷込み七十八圓の手合せを見せたり然れども高値は依然八十三圓處をば占め居れば平均値としては八十四圓ドタ處となるが之れが原因として何等取り立てゝ云ふ程の事もなく總會以來上げ鮮つたる揚句の反動と見るの外なく一時の呼吸押しに過ぎざれば强ひて此際狼狽投げを試むる必要も無かるべしと云ふ

滿蒙毛織漸落
滿蒙毛織は東京毛織の合併に亙いで陸軍製絨所の拂下げを鳴物に東京毛織と共に一時非常の人氣なりしが陸軍省の意嚮は本邦毛織業の統一を企劃し飛田中陸相の名を以て各毛織會社の重役を招聘し合同を慫慂したるも日本毛織側の反對に依り其後該問題は行惱みとなり到底短時日の間に實現すべくもあらざると一面陸軍部內にも拂下反對論起り居るやにて結局之れを强硬に買上げたる向の嫌氣投げとなり一般先づ東京毛織の暴落となり次いで滿蒙毛織も漸落步調を辿り昨今東京に於ける出來値は五十圓を出でず安値は四十八九圓處もある模樣にて當地唱へも之れを移して減切安となり五十一圓より高値二圓の取引あり平均一圓五十錢となりたり

殖銀次第安
殖産銀行株は東京に於いては早くより百圓を割りて九十六圓の取引を見せ居れるも當地は概して下澁り容易に百圓を下らざりしが內地の不勢打殺きて高値摑みに堪へざりしものゝ如く遂に本日の手合せは百圓を下り九十九圓五十錢となりたり然れども尙內地とは四圓强の値開きあり手數料其他を差引くも內地との値鞘は二圓內外に過ぎざるべければ今一段の安値取りを期待されつゝあり

朝紡益々不味
朝鮮紡織は幾に一度暴落ありたる以來弱氣の投物相次ぎて益々不勢となり本日安値二十八圓五十錢の手合せあり高くも二十九圓を出でざる有樣なるが投げ物は二十七圓五十錢よりも圓處に叩かれる振合あり

東拓先物安し
東拓株は現物舊株百十五六圓新八十七八圓二新二十六七圓の唱へに對し定期先物は減切安を呈し二十五日東京相場は舊株七十二圓二十錢新五十九圓九十錢に過ぎず勿論新株落ちの相場なるがそれにしてもプレミアムの如き漸次低下しつゝある譯なり

現株 賣買
公債株券現物賣買 有價證券信託業
西村商會
京城府若草町 長電話
◆持約店◆
東京信託團 賣屋 久保田正治商店
大阪株式取引所仲買人 雁半 中村半兵衛商店

殖鐵申込好況
目下當地現物組合にて賣出し中の西鮮殖鐵株は頗る好人氣にて申込多きは一口五百株少なきも百株を下らざる大口申込み弗々ある模樣なるが嘗て安東信託賣出の際の如き締切前日迄一口の申込みなかりしに其の當日に至り一時に殺到したる例あり今回の殖鐵の如きも未だ形勢觀望中の者多きが如く愈々締切當日に至れば驚ろくべき多數に達すべく豫想さる而して今日迄の申込みは七[illegible]最も多き由なり

金剛山電鐵割當
金剛山電氣鐵道株式會社の應募株數は約一千倍に達したりとの事なりしも右は誤りなりしが如く實は二萬株に對し約四百倍の盛況を以て締切二千株以下の申込に對しては單位を五株とし抽籤に依り募入する事とし廿五日勸業銀行に於て抽籤機を用ひ直に募入確定の通知を發送せりと

金利引上と株
鮮銀の金利上げが當地株界に及ぼす影響如何を聞くに今日の處一二厘は問題とせざれば何等痛痒を感ぜざるべしと然れども漸次財界の反動期に入り投機其の他の思惑的還卻して一般に採算株式を思惑する程の者は金利の株漁り時代到來せんか多少打撃を蒙るべく今日の財界は未だ熟狂的時代を去らず恰かも人が極度に緊張したる場合は些少の擦り傷は氣付かざるも冷靜に歸りて初めて多少の痛みを感ずるが如きかと

兜町だより
△ヤレ物價の調節だとか傳家の寶刀を拔くとか拔かんとか云つてイクラ鵜他から騷いでも肝心の當局者がソンな事は決して致しません誤解して異れては困ると言明して居るでは無いか其反映はアリ／＼と米價の上に顯はれて居るのを見よ▲期米は赤復四十一圓臺に奔騰した牛雜も高物價騰貴が自然の趨勢であるとすれば何か根本的の大施設を俟すとか或は異常の出來事にでも遭遇するに非ざる以上鎮を蹴く丈けに確實なる出直り相場を造るものと見るより外は無い▲各地方人の意嚮を探るに大概は現內閣の積極方針のお蔭でコンな好い景氣が出たと謳歌して居る樣子ある農本主義か農業家本位かは知らぬが兎に角全國農業家の上に其基礎を築ける今の內閣に都人士の期待する如き辣腕を揮はんは望み難い事と思はねばならぬ▲故に强氣が戰後の大相場は未だ現はれては居ないヤット序幕に入り掛つた許りであると見るのは無理ならぬ事である而して其大爆發は大かた講和條約批准以後の事であらうとすれば茲に一と押し押して玉整理をなす事は寧ろ大なる意義を含めるものであると稱する此說恐らくは彼の無定見な弱氣者に對する頂門の一針として聽くべきの價値あるものでは無からうか▲今度資本金五十萬圓で設立さるゝ日本織物會社は耐濕性の料紙を以てパナマ帽を始め帶地、洋服、敷布、壁紙、クロス其他有ゆる用具の裝飾品等を製出する專賣特許の營業を繼承するので既に輸出の販路も開け在るのであれば配當も一割を下るが如き事無く且つ事業の性質も前途の有望なるだけ世人に注目され居るを以て近く株式の一部を公募に附する由なれば其際の申込は定めし盛況を呈するならんと噂せらる

米況

東京期米特電
◎二十八日前場 當限寄附 四十三圓二十一錢 中限寄付 四十三圓丁度

寄付	四二、九九
高値	……
安値	……
止め	……

大阪期米特電
◎二十八日前場 當限寄付 四十五圓三十一錢 中限寄付 四十三圓十四錢 日後場

寄付	四三、四九
三節	……
安値	……
止め	……

神戸期米特電
◎廿八日前場 日後場

寄付	四二、六〇
高値	……
安値	……
止め	……

下關期米特電
◎二十八日前場 押目買

	當限	中限	先限
寄付	四二、六〇	四二、五九	四二、五六
高値	四二、七〇	四二、五九	四二、六一
安値	四二、六〇	四二、一〇	四二、五一
止め	……	四二、五五	四二、六一

仁川期米
廿八日前場(保合乎)

今朝各地入電未著なるも前日阪地の止め安を移し旁々人氣が買遁る折柄立會は當限四十三圓四十錢中出來ず先四十二圓七十三錢と七十丁安に寄付しも鮮人筋の賣物に六十八錢と弛みしが全力の買物に七十一錢と締り手堅く引 ▲第二節 當中出來ず先六十九錢より買方提灯の嫌氣投げ二錢と崩れしが押目は軟派の引米に八錢と盛返し四五錢と採合ひ三錢と不勢に引 ▲第三節 當限四十三圓四十錢中三十五錢先六十六錢より二〜と保合三錢と閑散に引 ▲第四節 當中出來不申先六十二錢より大阪前寄高を早耳せし買物に八錢と引締まりしが何となく嫌氣筋の投げ物衰へずデリ／＼安の五、九錢と押し六十一錢と手弛るく引 ▲第五節 當中更に出來ず先五十九錢より鮮人の投げ物衰へず五六錢と弱みし折柄大阪三節の安移りを早耳せし力店の買に次いで而も好く買り四十六錢、崩れ引際◯囲の買に五十錢と返し四十九錢と存外底强く打止めたり

嫌氣投げに崩る
前日末大阪地高値に促かされ劍安思ひに買附しマバマ筋は軟派の防戰と地場の賣物關係に存外伸力鈍ふきのみが動もすれば安步調の商勢にて小口の嫌氣を催ふし弗々投げ物嵩みに軟派主力の敵れ買五六千石現はれしが苦もなく消化せられ七十五錢を高値に殘し四十六錢と崩れ九錢と小戾しの不勢に打止めしが月末關係と今前場の臨時增證は新規商內を手控へしめ殆ど川仕舞賣買のみの閑散を呈せり

一限と內地格差
外米代用制撤廢と俟つて內地市場に建米格差を擴大せられ如何に粗惡米にても受渡しを決行せらるゝ事となりしが之に對する當市場の一月限新甫は何程の鞘を以つて生るゝが順なるか大に市場の注意を拂ひつゝあるが從來の格差は運賃費用を見積り四百五十丁內外を以つて順當とせられしものなるも代用制撤廢に對する粗惡米建の結果は從來の格差を以つて生るゝものとせば買方側の有力となり當市場の標準米は今日內地米との差格なきのみか五十丁內外の格上げを見る模樣なれば勢ひ二百丁位の下鞘に生れるべきかとの觀測多く行はれ居れり

廿八日前場	
寄付	四二、七三
止め	四二、四九
高値	四二、七五
安値	四二、四六

公定相場	
一節	四二、七〇
二節	四二、六五
三節	四二、六二
四節	四二、六三
五節	四二、五二

本日出來高 廿四萬千二百石

◇帳入値段 當限 四十三圓四十錢 中限 四十三圓三十三錢 先限 四十二圓六十七錢

市場雜觀
內地は連節毎に高報を移して來るが其の割り當市場は反應鈍く販地とは益々逆鞘を擴大されて居る此の調子を眺めた軟派主の某氏は汽車中で氣焰を上げて曰く如何に買方が傍括りとか云ふても又東京筋が月代りしたなど云ふても此の新米期の米を何萬石も受取る事は至難のみならず現在の買方として夫れ丈の資力も乏しいので阪地の高報に接しても之れ以上買ひ上る事は不可能である夫れに反して本日は臨時增證で百石に付一百圓宛納入せねばならぬ爲め或は投げ退いて來るかも分らんなど隨分買方を侮りて人爲的に市場の壓迫を行ひ居るが▲之れも二代目の荒木ではあるまいか金力や腕力で相場の面張りが出來るなら當春の如き失態問題も起らねば幾多の鮮商を苦しめる必要も無い道理であるけれども▲今度は取引所が寸毫も油斷をせぬのみか取組が增加する度に臨時增證を徵收して最早先限は四百圓と云ふ內地以上の證據金にされて居るから少々位いの變動に遭遇したとて仲買店より迷惑を蒙るが如き事は無いが其の反面に客對取引新對仲買店としては中々信用ある客方程な譯に行かぬ引續き二度の臨時增證は請求し雖いので幾分非難の聲も耳にしたが如何に營業細則に基きての事でも仲買組合委員長も有る事だからと云ふて居る向もあるが併し取引新も從來の例に鑑み幾分市場が人爲的に流れて來るかと取組は益々增加されて來るから健實を踏んだ處で都合に依りては中限に廻り七月の定時增證に振替へも出來る譯で左程八ケ間敷云ふ事もない相場の伸力は鈍いが依然として强硬を失はぬ之れでは取引新の注意を拂ふも無理のない處で▲賣方主力に頭を悩まして賣方の窮かに期待する弱氣屋に振れ舞ふ追證の二の膳などは餘り御馳走過ぎはすまいか風向の惡い折柄先に腹下しをせぬ樣豫防注射をして置くが肝要なことゝ毒吐いて居る向もあるとか

京城正米市場
前日期米の高報に連れて內地正米の上走りを噂させしが昨午後入電は大阪、神戶共に變らず只東京のみ四十錢高を移したるのみにて大阪某店よりの白米注文指値の如き沖著四十三圓見當の照會にて依然現下の當地より二百丁方の下値を叩き居れる有樣なれば精米筋は手隙きと先行懸念とにより更に進まず從つて商內も引續き行はれず氣配も相變らずの持合ひにて地摺上物四十三圓七八十錢を餌付の態なるが新米は例年に比し約二十日近くの時期遲れなる丈け一般川廻りは來月十日以降となるべく先づ其頃迄は賣買双方の見送りに此邊小高下の持合ひを繰返すならん

滿洲粟引返す
此一兩日來見送りの態度なりし滿洲粟は昨午後以來稍買氣を催ふし今朝に掛けて可成りの取組あり相場も前日來二三十錢方の高唱へにて海城新物十二月渡し十九圓七十錢同古現物十八圓三十錢見當を唱へられたり手合せの主なるものは四平街古二車一週間內外渡し十六圓六十錢蛤鉛新物十一月中渡二車十九圓三十錢なり

大豆弗々望む
大豆は氣配格別變はらざるも之又弗々買望みあり本日は汶山新現物四百以二十五圓八十錢新幕古現物四百十四以二十三圓三十錢に出來せり

仁川正米市場
內地期正米高に促かされ漸騰の傾向ありし當正米市場は期米の出廻り期に切迫し高値警戒の振合ひにて一頓挫を來し賣物薄ながら二三十錢安を唱へられしも今午前中は更に取引行はれず三等合格上物四十三圓七八十錢見當にて市況甚だ閑散を呈せり

釜山正米市場
期米好調に連れ今朝市場は賣方强硬なるも買方手控への爲め双方呼合ひの姿にて二三十錢安を告げ三等神力四十四圓五六錢に九百個出來せり▲大豆新物三十錢安にて二十五圓九十錢にて八百個出來古は氣配弱きも商內なし(二十八日釜山特電)

粗布買氣引立
當綿布市況は鮮盆需要の一段落後兎角不振の裡に推移せしが一時懸念せられし政府の調節及戰利令も相變らずの微溫的なるに加はへ排貨熱の熾なりし支那方面の輸出漸次見直し來れる等にて內地氣配再び向上の氣運を濟らし殊に問題視せらるゝ先物取引に付ては內地の投機的賣買と事情を異にし當地に在つては殆ど必要を見越す建實なる實買を主とせるものなれば市場一般に何ら懸念する處なくして粗布の如きは茲在荷不潤澤と今後の入荷落に買氣を引立て此兩日來入氣減切强調を呈せり相場は三ヱ一現物五百二十三圓五十錢處買聲あるも賣物乏しく一三物二十四圓五十錢を唱へらるゝが晒物は之に反し賣行き不振にして氣配又面白からず

銅眞鍮線昂騰
銅價昂騰の影響として曩きに板類數の値上げを見しが今回更に銅眞鍮線にも及ぼして市中値は共に百斤に付八圓方の昂騰を示せり

▲毎月第一日曜日休業
今般下名藥店協議の上來る十一月より實行仕候

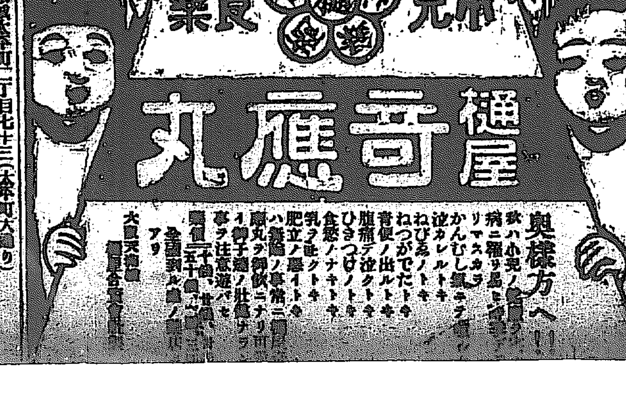
北米倉町 橋爪藥房
本町三丁目 鶴屋 西村久雄
太平通一丁目 誠生堂 岡野爲治
黃金町三丁目 迎和堂 岡崎清滋
本町四丁目 梶原力造
櫻井町一丁目 芳村藥房
櫻井町二丁目 再生堂 高松藥工場
本町三丁目 中田幸三郎
黃金町二丁目 村木藥店
本町二丁目 窪田醫療器械舖
本町一丁目 合資會社 山岸天佑堂
黃金町三丁目 文珠堂 山田一二三
黃金町四丁目 藤本釗太郎
本町二丁目 賛化堂 古城龜之助
本町四丁目 後藤正一
明治町二丁目 向野藥店
南大門通二丁目 新藥 新井虎太郎
本町三丁目 マツヤ藥房 阿部悟
旭町一丁目 淺野樂天堂
明治町二丁目 島支店 久坂井峰太郎
本町四丁目 木村藥房 木村眞三郎
本町二丁目 不老堂 木下藥房
南大門通五丁目 千粒堂 宮本藥局
本町二丁目 正隆堂 廣岡直藏
黃金町二丁目 日吉屋藥房
資生堂 平野トミ
本町三丁目 回天堂 森川定次郎

公告
來ル十一月一日當會議所評議員定期改選ニ付來ル十一月一日ヨリ向フ七日間(日曜日ヲ除ク)毎日午前九時ヨリ午後四時迄當會議所ニ於テ選擧人名簿ヲ縱覽ニ供ス縱覽期間内ニ選擧人者ニ於テ本名簿ニ異議アルトキハ縱覽期間内ニ其理由及證憑ヲ具シ會頭ニ申立テラルヘシ
大正八年十月 日
京城商業會議所會頭 原田金之祐

ストーブ用 煙突 廉價賣出し!!
鐵板製 直徑三寸六分 三尺物一本 金五十五錢
同 四寸 三尺物一本 金六十五錢
右五千本限り前記の特價(當社定價より一本に付三錢以上安價)を以て提供仕候間賣切れぬ前に至急電話又は葉書を以て陸續御用命相願度候
龍山漢江通電氣會社前 田中工作所 電話八一四番

外科內科 皮膚科 黴毒科 島崎病院
京城旭町一丁目 電話一七三六番
院長正六位勳四等 島崎
入院隨時普通及特別室

支那靈藥 虔脩 六神丸 五十粒 貳圓 百粒 金圓五十錢
主治効能 鎮痛、興奮、强心、止瀉、解熱
發兌元 京城長谷川町七五 中華醫院藥
特約店 京城本町二丁目 山岸天祐 同四丁目 宮本千粒堂 南大門驛構內販賣 平壤驛構內販賣



京城本町二丁目七十三(本町大通り)
入院 隨意
片山內科醫院
片山

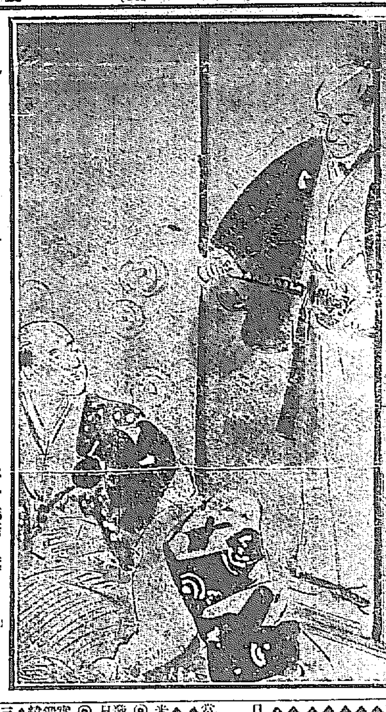
伊達騷動

小金井芦洲講演

第四十三席

照女の艶書

安『これや照、明日にも鐵之助罷り越た折柄其方からいたして一通の艶書を遣はせ、艶書を先方が受取つて色好い返事をいたしたと云ふ事になつたらば其時は予が取持つて蛇度思ひを遂げさせてやらう』照『恐れ入りました、それでは御前様、誠にお恥かしうはございますが左様いたしまするで、宜しうお願ひ申します』ご自分が思ひ初めて居る意中の人ですから斯う云はれたので恥かしさも何も打忘れて安藝に厚く禮を述べ、一夜寢ないで書いた艶書、一心籠めて認めたのですから熱血の迸る如く思ひ切つたことが書いてある、其翌日のことで鐵之助、斯う云ふ事のありとは氣が注かない、相變らず安藝の機嫌を伺はうと云ふので鐵『エ、御前様、麗しき御顔を拜し恐悦に存じまする』安『オヽ鐵之助か能う參つた』と云ふので今日は大層機嫌が好い 安『丁度徒然の折柄である』予も一杯呑みたいと思つて居つた所ぢやがう』酒と云ふものは相手がなければ不可ぬものだ、其方相手をいたして呉れい 鐵『難有い仕合せにございます、伺ひます度毎に御馳走になりまして恐れ入ります』奥の一ト間で御酒宴が始まつた、空腹の折柄であるから思ひの外に酩酊をいたしまして 鐵『モウ後を御申附け下さいましては頂戴は出來ませぬ』安『マア〳〵好い澤山に呑め』此處へ家來が充分と云ふ度を整つて安藝宗重は故意と其の席を外しました、何か折があつたらば御前から吩咐かつた通りにと、疑前からお照は艶書を懐に入れて樣子を窺つて居りました、所へ折も折、安藝は向ふに立つて行く、自分に取つては又と得難い好機會、後の襖を明けてツッと鐵之助の傍へ寄つて 照『モシ松前様、誠にお恥かしうは存じますけれども、口には云はれぬ心の丈け、』筆に云はしてございますから切望是れをお讀取りを願ひたう存じまする』と真ッ赤になつて下俯向いて差出したは水茎の痕も掬からぬ女の玉章、鐵之助は眼を開いて是れを見返つた顏、顏の色が忽に變つた 鐵『これは〳〵何をなさるかと心得たらばお照殿には飛んだお心得違ひ若き時は血氣未だ定まらず、是れを戒むる色にありとの孔孟の教へもあり、決して〳〵斯樣なことを遊ばしてはなりませぬぞ、誠に迷惑千萬に存ずる、玉章は其儘お持歸りを願ひたう存じます』照『ハイ、お言葉御尤もではございますが、女の口からあられもない、お恥かしい斯樣なことを願ひまして、お斷りを受けましてはモウ妾は此世の中に存命へては居れませぬ、これが永きお別れでございまする』と豫て用意をいたしてあつた懐劔の鍔口に手が掛つた、既んでのことに咽喉に突き立てようと云ふ其手をピッタリ押へた鐵之助 照『アヽコレ、夫は飛んだお心得違ひ、暫らく待ちなさい、マアノ〳〵暫らく……』途端に向ふの唐紙をサッと開いて這入つて參りましたのが伊達安藝、ハッと驚いて右と左に立別れ兩手を支た、安藝は屹度双方を睨まへ 安『憎くい奴だ、主人の目を忍ぶ斯樣其方は申したが』アレヤ一體どう云ふ譯だ 鐵『これは又恐れ入りました』李下に冠を正さず瓜田に沓を入れずと云ふことがございます、私はお目見得以下の小身微祿の者、お照殿は進藤源吾右衛門殿の御息女、君から不義者と御認めを蒙りました以上は申譯をいたしても詮なきことでございます。』



た、御成敗は斯く申す鐵之助だけに御申付け下さいますやうにお照殿は此儘御赦免の儀を願ひたう存じまする 安『ウム、確と成敗をいたす 照『恐れ乍ら御前、唯今松前様の仰しやいましたことは跡方もないことでございまする、妾から不義を申掛けましたので切望妾を御成敗に預かり度う存じます 安『何でも好いから其方は次に退つて控へて居れ、鐵之助其方にチト申聞けることがあるから此方へ參れ 鐵『ハ、ア』松前を連れて向ふの一間へ 安『偖其方は實に物堅いものだな、ア、實は今日照が艶書を遣はしたのは斯く申す安藝が申付けて置いたのぢや 鐵『エッ、偖は御前のお試しでございまするか 安『如何にも……然るにも拘らず一室に入り不義者見附けたと申した時に私から不義を言ひ掛けたのだから成敗をして呉れろと

牛乳 朝鮮總督府病院御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

人蔘三天 京城本町壹。電話一四八〇番 一八七〇番 津村兄弟商會

十月三十日

（舊）九月七日 木曜日 ▲きのえさる ▲六白 ▲赤口 ▲いぬゐ（西北）▲先負 ▲井 ▲さる

▼六白△實利の兎角伴なはぬ日
▼七赤△親しみのある同氣相求むる日にして萬事進んで利あり
▼八白△繁榮の日なり或ひは意外の好きことのあるやも知れず
▼九紫△引立榮のせざる日なり
▼一白△寶の手に入る如き日にして意外の喜び事あるや知れず
▼二黒△愉快なる得意の日にして正しき事は進んで利ある日也
▼三碧△あまり感心せざる日也
▼四綠△得意なる愉快な日にして思ひ立ちし事は爲すに利あり
▼五黄△殊勞を重ねたる上にて物事に取掛らば成就すべき日也

强胃消化錠 八木田博士處方 島田博士御鑑定 アナタの胃病には マーゲン 本劑の特色 二博士推薦の本劑 マーゲンは獨式胃腸藥と異り其根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を增し胃弱を治し胃を强化にす 大阪市東區上本町五丁目 山畑保藥房

珍書 熱狂的迎獄 見本入用ハ十錢切手ヲ送付アレ 枚ニ直密送 大阪東區上本町一丁目 櫻花堂

演藝案内

喜樂館 本町一丁目 電話九九七番 有樂 部改 當る拾月貳拾三日より特別映畫封切 ○活劇 面白き曲の製造 ○滑稽 凸坊毛生藥の巻 ○米國メトロ會社特別映畫封切 ジョーン マテイス氏脚色 ▼人情劇 良心の囁き 全六巻 瓜二ツと云ふ程似て居るポッターとハカスエンとは同じ獄中に居つた是れが恐ろしい物語の糸となつて不可思議な事件が展開され極めて平易卑俗に落ちない如何なる好客様にも御同感を願へる ▼新派劇 水戸黄門 金藏 六巻 ○○毎日晝夜二回開館仕候

大好評 連日滿員 伊勢音頭 油屋十人斬 の 大兒漢懺悔談

アト三日 正六時開館 **大正館**

浪花館 京城明治町 電話二六〇 浪界の泰斗 雲右衛門入道共催 桃中軒雲右衛門一行 當る廿七日午後六時開演 ▲義士銘々傳 ▲浪花の色鳥 ▲水戸巡遊記 ▲武士道の戀 ▲金門北路の梅 ▲宗吾神社由來 ▲義烈百傑傳 桃中軒富士丸 桃中軒小富士 吉川八重子 吉川秀 立花龍 富士右衛門

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞會社代理店 當廿四日より最新大寫眞と特別餘興 ▲實寫アラビヤ酋長即位式實況 ▲漫畫 凸坊畫帖 ▲米國ルビン會社大傑作 ◎大活劇 運命の神 全五巻 發明工場火災列車衝突の決死傷數百 日活會社本年九月封切東京毎日連載 ◎妖劍 今古の葵下阪 全七巻 ... 石井谷藏 ...

りん病梅毒專門

本劑は神靈の御示により家傳の靈法にして今を去る元中の頃足利家典醫の知る所となり... 特約代理店 御希望の方は御照介あれ 本舗 東京市淺草區新谷町十一番地 神念丸發賣本店 代理店 東京市日本橋區瀬戸物町 玉置合名會社

外科 皮膚科 瀬戸醫院

京城旭町二丁目（舊三丁目） 醫學士 瀬戸潔 （診察夜九時迄）（電話一四九八番）

痔疾專門

京城明治町二丁目（本町より入る中央） 京城久枝肛門病院 電話一一〇二番

にきびとり 美顔水
心ある家庭には是非常備せられたき皮膚衛生藥

（一）ニキビ、吹出物―婦人は固より男子にても、ニキビや吹出物の多いのは見よいものでありませんが、此藥は頑固なニキビや吹出物に對しても奇効を奏しますので信用を博して居ります。

（二）蚤、蚊、南京虫―其他蟲のある虫に螫された時、此藥を附けますと、不愉快な痛さ痒さを覺わす、螫された跡が腫物等になる事がありません。蚤や蚊で夜お子方のムヅかる時等此上ない重寶な事がおわかりになります。

（三）皮膚を美しくす―斯ういふ藥ですから、常用すればニキビ吹出物を防ぐは勿論皮膚は次第に拭はれ磨かれた樣に美しくなり容貌の美を增す力が强いので、此藥は心ある家庭には常備せられて居ります

（定價特大瓶壹圓貳拾錢・大瓶六拾錢・中瓶參拾錢・小瓶貳拾錢）

發賣元 （東京・大阪） 桃谷順天館

大阪商船出帆

（仁川出帆） ×木浦大阪行 信濃川丸 十月 日正午 ×群山大阪行 安東丸 十月 日正午 ▲濟津行 安平丸 十月 日後九時 宇品、神戸、大阪行 宮島丸 十月廿九日後十二時 （元山出帆）櫻城丸 十月 日正午 上海、基隆、打狗行 湖北丸 十一月五日前六時 基隆丸 十月 日 （大連出帆） 歐洲行 一年四回 北米行 毎月 南米行 一年四回 濠洲行 毎月 御注意 大阪商船株式會社仁川支店 電話二二〇

共同汽船出帆

▲奏皇島行 第一共同丸 十月 日午後八時 ▲青島直行 第十一共同丸 十月廿六日 ▲大連直行 第三共同丸 十月廿八日 朝鮮鐵道主要驛にて青島大連行の荷物を受付く 仁川代理店 元山代理店 京城取次店

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 平安丸 十月 日 ▲浦汐行 越後丸 十月 日 ▲雄基行 京畿丸 雄基丸 十月 日 ▲元山雄基線 鏡城丸 十月 日 ▲大阪行 越後丸 十月 日 ▲關門行 京畿丸 平壤丸 十月 日 ▲濟州島行 慶興丸 公州丸 十月 日 ▲多島海行 慶興丸 ▲木浦行 晋州丸 ▲鎮南浦行 天關丸 ▲大連青島行 江原丸 十月 日 本社 京城南大門通（電話長三一〇番） 其他各寄港地ニ營業所アリ

京城日報

歐洲戰亂に於ける我海軍の作戰行動（十三）

矢持大尉講演

地中海派遣艦當初より大正七年八月迄の護送回數累計實に三百二十一萬運に達し、此期間中に於ける護送船舶數は六百八十隻を算した。而も此の方面では敵は無謀と思はれる程大膽に烈しく聯合國に抵抗したのであるから、從つて敵と出會して交戰することも多く敵に對して多大の損害を與へたが又我が艦隊に於ても貴重なる犧牲を拂つた。榊松の如き夫であつて榊は或る時敵を發見すると同時に是れに向つて突擊を試みんとして敵の發した魚雷を受け艦は辛うじて沈沒を免れたが艦長以下數十名は壯烈なる戰死を遂げた。尚ほ夫ばかりでなく地中海派遣將卒は食物の爲に何とも云へぬ苦痛を感じた。吾々日本人は味噌と漬け物を食はねば胃の腑が承知しない、中には嫌ひな人もあるが大概の者は三日も味噌を食はぬと身體の工合が惡くなる。然るに地中海では佛蘭西や伊太利の港へ行つても味噌の補給をすることは出來ない、日本から送つても印度洋を通過する爲め腐つて仕舞ふ、仕方がないから順次に乘組員を交代させたけれどもそれでも追ッつかない、非常に苦しい目に逢つたが其の内に戰爭も終つたので無事に任務を完ふすることが出來たのである。第二特務艦隊の地中海に於ける協同作戰は英佛伊諸國から多大なる感謝と賞讃とを博した。當時日本では第二特務艦隊の行動に就て餘り詳しく發表せられなかつた爲め日本人が却つて事情に暗かつた樣であるが外國の新聞などでは盛んに其の功績を賞揚したのである。斯くて帝國の威武を發揚したのみならず是れに依つて聯合國に對する帝國海軍の熟誠なる努力を列國環視の裡に表現したのである。

●第五●露領沿海州方面● 露國に革命が勃發した爲め西伯利亞地に在つた獨墺俘虜に跳梁の機會を與へ、殊に過激派の政府が出現して以來獨墺俘虜は過激派と策應して益々露國を混亂に陷らしめ、此の形勢は露領沿海州方面にも及んで同地方の狀態は混沌として日々險惡の度を加ふるに至つたので、大正七年一月第三艦隊の一部肥前日進の兩艦は浦鹽に派遣せられ同地方の警備に任ずることになつた、此艦隊は先づ同方面に於ける獨墺勢力の侵入に對抗して海上及び陸上の安寧を維持し、帝國並びに聯合與國居留民の保護に任ずる一方同地に堆積してあつた軍需品の監視をした。此軍需品は約六十萬噸と云ふ多量のもので聯合與國から露國に供給する目的を以て送られたものである。

生別死別

（不許無斷興行）

服部硯月

第廿二 咀呪

大學病院で十二三の男の子を連れて診察を受けた婦人は三浦美代子で、其の日の午後四時半頃、唯一人で四谷箪笥町の井上常太郎の宅を訪ふた。井上の家内は先導に立つて二階に案内した。

『誠に御無沙汰致して居ります、其の後は定めしお淋しう御座いませう、少しはお伺ひしなければなりませんのですが……』

美代子は何と返事をしたものやら一寸當惑した。それは果して妻君が秘密を知つてゐるのかどうか、分らぬので。其の寂寞に對する同情が重之の單に家にゐなくなつたのを意味するかも知れないから。

『旦那樣には色々と御心配を掛けて相濟みません』

美代子は當らず障らずの挨拶をして其の場を繕うた。

『旦那樣がお沒くなりになりましてからは。お嬢樣や坊ちやんがどんなにかお淋しくつていらつしやいませう』

談話の模樣では妻君は重之を本統に死んだものと思つてゐるらしい。

『ありがたう御座います、何分子供が未だ年がゆきませんから役に立ちませんので……旦那樣はお暇か何かで？』

『いゝえ、裏で盆栽を弄つてゐた樣でした、ほんに未だ知らせんで失禮致しました、ちよいと知らせて參ります』

『別に急ぎませんから……盆栽はお樂みで御座いませう』

『何の、皆盆栽物ばかりですの、ちよいと失禮致します』

妻君は云ひながら起つて二階を下りた、まもなく井上は手拭で汗を拭きながら上つて來た。

『いやどうも大層お待たせ致しました』

井上は坐りながら挨拶した。

『どう致しまして、飛んだお邪魔を致します』

『あの節は種々と御心配に預りましてありがたう御座いました。一度早くお禮に上らなければなりませんでしたけれど……』

妻君が上がつて來てお茶と茶菓子を夫人の前に出し、會釋して下に降りた、井上の家では睦か上秘密の事が多く、來客の時には主人の命を待たず、何時でも席を脫すやうに吩咐られてゐる。

『其の後旦那樣にお逢ひになりましたか』

『はい先達て一度訪ねて參りました』

美代子は其の時の光景を思ひ浮べて不覺に打沈んだ。

『御病氣の方は？』

『はア見た所では別に變つた事も御座いませんでした』

『夫は何よりです、して今日態々お越しになりましたのは何か急用でも？』

『はア只今御相談を願はなければならぬ事が起りまして……』

早くも美代子の眼には露が宿した。井上も非常事ならじと察した。

『愈々お運びになりませんでも、お使ひさへ戴きましたら此方からお伺ひ致しますのに』

『井上さん！何たる因果で御座いませう、又倅の要まで……』

後は急込む涙に聲も發し得ない。井上も初めて聞いて驚き且つ美代子の心中を察しては急に言葉も出ないのである。

『重々お察し申します』夫れは困つた事になりましたね』

『何處まで妾共一家は呪はれるので御座いませう』

折柄階段を上る人の跫音がしたので主客は之が爲めに談話を中止した、襖を明けて這入つて來たのは二十二三の青年で、主客に會釋して鴨居の釘に懸けてある落物を取除した。

『おい謙治、三浦樣の奧さんだ一寸御挨拶をお爲！あの奧樣、之は私の倅で……年ばかり取りまして未だ何の役にも立ちません』

主人に紹介されて夫人は向き直つた。視線と視線とが合つた。

『オヤ貴郎は……』と後は物も言はず、夫人の顏色は颯と蒼褪めた。謙治と呼ばれた青年も何故か無言で逡巡してゐる。

家庭自學文庫

全廿四卷完成

會長 文學博士 澤柳政太郎先生
主幹 高島平三郎先生
主幹 樋口長市先生

評議員
新渡戸稲造先生 嘉納治五郎先生 鎌田榮吉先生 片山國嘉先生 上田萬年先生 松本源太郎先生 正木直彦先生 江原素六先生 阪谷芳郎先生 阪田貞一先生 佐野善作先生 湯原元一先生

□□□□□□□□教育會諸大家監修並に立案執筆
自學奬勵會御編纂

各卷三百餘頁挿畫豐富背革洋布最優美裝幀

忠君愛國物語 孝子物語 百花俱樂部 化學物語 發明家物語 英雄物語 電氣物語 體内めぐり 登山物語 少年看護婦 世界動物園 寶さがし
修學旅行 少年自治團 日本戰物語 天體旅行 西洋戰物語 綴方四季 修學旅行 お伽俱樂部 玩具博覽會 海底の探檢 魔法の鍵 金銀銅貨物語

特價提供

部數三万部限定 價卅八圓四十錢（他分冊拂法あり）
期限十一月五日 特價卅圓（便法あり）
─着金順により速刻送本─（送料金八十錢）

家庭自學文庫は、教育界に定評ある自學主義教育の鼓吹者自學奬勵會が、各課目により、それ〲專門の教育大家に嘱して、立案又は執筆を請ひ、更に眼識ある諸先生の監修補正を經る等、絶大の努力と數年の長日月を費して、編纂せられたものである。卷を分つ廿四、國語、修身、歷史、地理、物理、化學、動物、植物、鑛物、天體、海洋、衞生、生理、法制、經濟等、國民として知悉せざるべからざる諸項に渉りて、その根本知識を趣味に領得せしむべく、周到なる用意と、懇切なる叙述を以て、一貫せしめてある。即ち

家庭自學文庫は、何人も讀み得べく、何人も解し得べく、少年少女諸子に取つては絶好の師父たり、父母兄姉に取つては、最良の子女弟妹教導の指南車たると共に、また有益なる興趣の寄與者である。若し夫れ之を學校に備ふるに於ては、教師諸賢が無二の資料庫として、其の教材に益する多大なるものがあらう斯くて

家庭自學文庫は、各家庭の必備書であると共に、また各種學校、各種圖書館の必備書であらねばならぬ。此の好個書は全廿四卷完成の機會に於て、至廉の特價を以て廣く大方の前に提供せらる。希くはこの好機を逸せず速に購求せられんことを

詳細說明書御請求次第送呈す

東京市京橋區南鍋町一丁目二番地
發兌 隆文館圖書株式會社
電話新橋一七八〇番

笹山章著 ウツボ屋書店發行
新案獨學イロハ辭典付
鮮語自在
ポケツト形二百頁 上製クロス 七十錢 送料四錢
發行十ケ月余ニシテ版ヲ重ヌル事既ニ四回、以ツテ本書ガ如何ニ其内容ノ充實セルカヲ究知スルニ足ラン……萬人必携ノ良書ハ是！
發賣元 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

書畫鑑定法・印譜落款集 全一冊

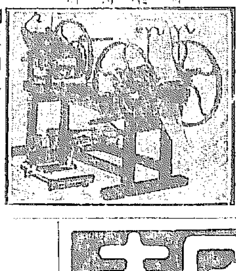
鑑定界唯一羅針盤

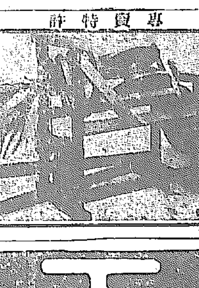
■古今名家の印譜五百點
■現代書伯の印譜七十點
■印章落款の數一萬三千個

全參冊一組 定價金廿六圓 特價廿貳圓 送料四十八錢
見本進呈
東京日本橋馬喰町 興文社

朝鮮總督府遞信局購買組合指定店
和洋雜誌販賣 京日代理部

專賣特許
眞崎式素麵機
八管式製繩機





特許諸機械製作
朝鮮大田本町一丁目
眞崎大田出張所 振替京城六二六七番
▲特約店募集▼

英習字

無代進呈 美しい英習字の見本中込次第進呈す 切手二枚封入申込
英習字及英習字に執筆の運筆法、執筆法を名刺代二肉筆を無代進呈
肉筆手本印刷手本講義録運筆習指導其他一切の用具材料を備へ可與に個人的に通信教授す
振東京一参参八 電話番町七四八
東京牛込市谷谷町
大日本英習字研究會

婦人画報

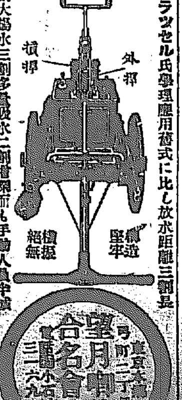
十二月號 定價一部九拾錢 郵税五厘
口繪 刺繡……田邊至 第三頁 大原色美人畫 岡野榮 第二頁大
口繪 奈良の或村……水彩畫 景色繪
寫眞 ○最近の宮殿下○院展御成久邇宮殿下○婦人恢復家新婚○米國大使館夫人○鍋田勢正 ……
養子緣組……法學博士 穗積重遠
藝術は本能的生活の發……有島武郎
自覺ある民族的遺産……山田美那子
勞働婦人の叫び……記者
婦人の身長……三浦醫學博士
懸賞論文募集 選題を婦人問題……懸募は婦人に限る 一等五十圓、二等三十圓、三等廿圓
長篇小說 忘れがたみ……菊池幽芳
長篇小說 由緣の女……泉鏡花
歴史小說 源氏車……渡邊霞亭
發行所 東京社 東京市京橋區南鍋町一丁目二番地 振替東京四九〇〇番 各地書店

赤玉ポートワイン

朝夕の一杯
百藥に優る
七博士推奬の
美味滋養
葡萄酒

赤玉葡萄酒は 健胃 補血 興奮 強壯の効最も顯著にして一般消費者に缺くべからざる滋養料として今や各藥局に採用せられ益々その偉効を醫界に認識されつゝあり 加ふるに其特別な醸造法に於て自然の美味を最も豐潤に保有せしめ得たる特長あるを以て 婦人小兒の口にも適し老衰を防ぎ精力を増進する効に至ては 蓋し決して他の追從を許さず

陸軍經理學校教官 工學士 工場監督官 橘幸三先生發明完成
きばんれん
スコツトラツセル氏學理應用舊式に比し放水距離三割長く口四割大揚水三割多量吸水二割増强而も手動人員半減



望月合名會社

S.S.S.
サンエス萬年筆

■用筆多端の季節に際して
最も進取の氣に富み給ふ人の手に役立つ萬年筆は必ずたらんこれ現存の事實なればなり
價三圓五十錢以上

關西代理店 大阪東區瓦町 翠井幸助商店

露都大騷亂勃發

斯德堡來電に依れば十八日ペトログラードに大騷亂起れりと（北京特派東京電報）

ユ軍露都占領乎

反過激派ユデニーチ將軍は十月十五日ペトログラードを占領せりとの報あり（哈爾賓電報）

小露講和要望

倫敦來電＝小露政府はデニキン將軍と講和せんことを希望し英國政府に對して右に關する斡旋の勞を執らんことを求めたり（シドニー電報）

赤衛軍司令官俘虜

赤衛軍司令官ヲソフは俘虜となれり（オムスク電報）

罷業決行乎

大統領の調停を拒絶

米國炭坑夫は大統領ウイルソン氏の仲裁に關する申入れを拒絶したり有らゆる點より觀察して同盟罷業は十一月一日を以て開始せらるべしと想像せらる（紐育電報）

交渉遂に破裂

炭坑經營者と坑夫との協議は遂に破裂し今や五十萬人に上る坑夫の同盟罷業開始せられんとし大統領ウイルソン氏は同會議長レーン氏に對して一の教書を送り依然會議を繼續し何等かの妥協點を求むべしと慫慂せり（紐育電報）

產業會議閉鎖

米國各炭礦主と坑夫との交渉は遂に不調に終り之れが爲め產業會議は閉鎖せられたり（紐育電報）

コンパース脫退せん

米國產業會議に於ける勞働者側の態度強硬を極めゴンパース氏は會議より脫退すべし（香港電報）

最高會議終了期

講和最高會議終了期は三週間以内ならん（巴里電報）

獨人陰謀發覺

佛國のアルサス、ロイレン兩州統治反對を煽動せる獨人の陰謀此程發覺せり（巴里電報）

西藏境界主張

西藏問題に就き最に四川省議會は各省に通電し昨年來西藏軍の侵略せる土地を恢復したる後境界問題の談判を開始す可しと主張せるが之に就き吉林湖南浙江陝西の諸省議會は其主張に贊成し政府に對し英國との間に強硬に談判し毫も讓歩する勿れと要求し來れり其他の各省議會も續々之と同樣の電報を發し來るべしと期待せらる（東京特電）

和平意見聽取

國務院は各督軍に對して南北和平に對する意見を聽取しつゝあり（北京電報）

對米借款交渉

支那政府は酒類實稅等を擔保とし米國に對し一億萬圓借款を交渉中なりとの說あり（北京電報）

奸商大陰謀か

南洋と本邦麥酒

……の増したる各國商業努力の競爭思ひ半に過ぐるものあり試みに大戰前後に於ける南洋果寧島に於ける酒類の輸入……

觀兵豫行演習

二十八日午前八時より代々木練兵場にて觀兵式豫行演習を行ふ柴諸兵指揮官及び參謀長の職兵ありて後各部隊の分列式を爲し正午終了せり（東京特電）

駐日支那公使

駐日新公使劉鏡人氏は十月末迄に北京より歸京すべし（北京電報）

現物軟弱傾向

久超見越にて現物一齊に軟弱の傾向あり（東京特電）

本年度京城府追加豫算

大正八年度京城府歲入出追加豫算額は歲入出共に四萬四千八百四十三圓にして其內譯を示せば左の如し

歲入の部

經常部追加豫算高	一〇、〇一九圓
臨時部追加豫算高	三四、八二四
合計	四四、八四三

經濟部府稅に金一萬一千九圓を追加したるは一般商品騰貴の結果銀行貸出金額の增加と之に伴ふ商品賣上高の增加とに依り銀行業に於て金二千三百三十七圓物品販賣業に於て金七千七百圓增收の見込あるに由る

臨時部繰越金に金八千八百十一圓を追加したるは前年度歲出剩餘金を生ずるに由る

地方費補助金に金四千五百七圓を追加したるは本年四月發布の朝鮮總督府令第六十一號に依り傳染病豫防に關する費用の一部は之を地方費より補助を受くるに由る

寄附金に金五十圓を追加したるは南米倉町局部改修工事費として隣接地主より寄附の申出ありたるに由る

財產賣却代に金七千七百九十三圓を追加したるは朝鮮神社境內地及漢陽公園が朝鮮神社境內地に編入せられたるに由り同公園內所在府有建物の內休憩所國丁宿舍各一棟の賣却代及南大門汚物集積場が道路敷地に編入せられたるかため之か敷地等の賣却代とを見込みたるに由る

補償金を新設し金二千三百八十四圓を計上したるは南大門汚物集積場所在建物並に公園移轉に伴ふ漢陽公園所在記念碑、記念堂、四方屋、共同便所、腰掛等の移轉料として交付を受くるに由る

繰入金を新設し金一萬二千二百七十九圓を追加したるは時勢の須要に應じ日用食料品供給市場を施設せむとするに由る而して本金額は府有財產中市場設備積立金より繰入るゝものとす

歲出の部

經常部追加豫算高	一九、七九三圓
臨時部追加豫算高	二五、〇五一
合計	四四、八四三

經常部土木費に金三百圓の追加を要するは義に總督府より無償讓與を受けたる漢江人道橋臨所在道路修繕用器具材料格納倉庫の修繕を要するに由る

傳染病豫防費に金五千七百九十三圓の追加を要するは（一）一般勞働賃金の昂騰に伴ひ傳染病豫防事務に從事する人夫に對して增額支給の必要を認め一人當九錢を增額（平均日額七十四錢）し又同事務に從事する者に對し居殘勤務手當を支給せむとするに依り之等の費用を合せ雜給に百十一圓及（二）從來藥品及薪炭油費は朝鮮總督府令第六十一號に依り府の負擔と爲りたる備品費に五千四百三十二圓を計上したるに由る（三）交通遮斷に依る救助費に充つるため雜費の項を新設し二百五十圓を計上したるに由る

傳染病院費中雜給に金五百九十四圓の追加を要するは本年五、六月以來發疹チブス患者の收容多數に上り臨時雜役夫の使用多きと常備看護婦中同病に感染したるものあるが爲之か補充として臨時看護婦の傭入を要すること醫師及看護婦にして傳染病に感染せる者に對する療治料及救助料か既定豫算に不足を生ずる見込なるに由る

汚物掃除費に金一萬三千五百五圓を追加したるは主として諸物價暴騰の結果に伴ふ已むを得ざる支出にして（一）年度の始めより人夫賃及馬車賃漸騰し到底既定豫算の範圍に於て傭入不可能の狀態なるを以て既定人夫賃日給五十五錢に對し四錢補職工及大工給月給一圓七十錢に對し八十錢馬車賃一臺二圓六十錢に對し三十五錢を夫々增加せむとする結果傭人料に於て八千二百七十六圓及道路撒水費に二百七十四圓を追加し尙百五十圓は人夫の勤續を獎勵する一方法として一ケ月中二十日以上の勤續者に對し一日に付三錢乃至五錢を支給せむとするかため賞與金に計上し（二）米價騰貴に伴ひ馬糧用大麥大豆も昂貴したるに由り馬糧費に四千二百圓（三）掃除監督員並に傭人被服費既定豫算を以ては購入不可能なると西大門外人夫詰檢場に電話架設の必要を生じたるか爲之が費用として需用費に二百二十七圓（四）公務に基く負傷者豫定より多かりしに由り之か治療費として百九十二圓雜費に追加したる等に由る

臨時部土木費金千七百八十九圓の追加を要するは南米倉町局部改修工事並前年度施行濟に係る自南大門至西小門局部改修工事に伴ふ水道管の移設工事及本年度施行計畫に關する局部改修工事が豫算編成當時に比し著しく材料及勞働賃金の昂騰せるため既定豫算に不足を生ずるに由る

汚物掃除費に金八百六十三圓の追加を要するは南大門汚物集積場及龍山三角地は何れも地目變換のため同所所在の倉庫及共同便所の移轉を要するに由る

公園費に金八千九圓の追加を要するは新設公園附屬建物修繕及設備工事中物價昂騰の結果既定豫算の繰越額內にては施行不可能なると漢陽公園內所在の記念堂、四方屋、共同便所、腰掛等新設公園に移轉設備せむとするに由る

日用食料品市場設備費を新設したるは時勢の要求に鑑み物價調節を計り以て府民の利便を計らむか爲差當り明治町元漢城病院跡及鐘路の二箇所に食料品市場を設置せむためにて之が設置に要する費用の總額は一萬七千四百十五圓にして內一萬四千三百九十圓なり

簡易食料品市場開設期

簡易食料品市場は今般總督府官廳の認可を得愈々近く實現さるゝ事となりたるが服部事務官の語る所に依れば右は近時の異常なる物價昂騰に際し一般府民に出來る價よりも低廉なる日用食料品を供給する目的の下に計畫されたるものにして是が爲不取敢八年度追加豫算中に一萬四千三百九十圓を計上せり場所は明治町二丁目元漢城病院跡及び堅志洞百十番地の二箇所にして明治町の方は九百十六坪中十六個の店舖を設け堅志洞の方は六百五十四坪中十九個の店舖を設け毎日午前六時より午後十二時迄開場し主として生魚、青物、乾物、肉類、漬物、鹽魚其他日用食料品を販賣する筈なるが既に一切の手續を終り目下日用品を如何にして安く供給するかに就き鋭意研究中なりと因に當局に於ては時節柄一日も速かに實現せしむべく努め居り其の開設は遲くも十一月中なるべしと

支那海軍現狀

李鼎新中將談

中華李鼎新中將外四名は大演習陪觀の爲め公使館附武官松坂少佐と共に二十五日朝入港の關釜連絡船にて下關着直ちに東上せる李中將は語る『支那海軍武官の大演習陪觀は淸末以來前例なく從つて其手續きも容易でなく遂に國會を閉いた結果各海軍官は此陪觀武官を限り陪觀に行く事となつた支那の海軍力なるものは北方側に於て四千噸級七隻外に若干の練習艦を有し南方側に於て二千噸級二隻を有するのみで實に微々たるものである海軍費として毎年の國庫支出は一千萬圓なるも是れは主として軍人其他の給與に充當するもので艦艇の建造に充つべきものは皆無である從つて造艦する事を得ざる次第なるが今後は人民の聲に從ひ漸次擴張する考へである海軍學校は將來の人材養成機關としては元來傭兵の事として其成績思はしからざるは慨歎に堪へず向後日本の援助を仰ぐ事決して尠からざる事と思ふ云々』（關門支局）

鮮滿片々

金泉穀物賣買所

金泉穀物商有志二十七名は今回資本金三萬五千圓を以て旭町に穀物賣買所を設立したるが其の目的は從來金泉に於ける取引が日々に於て甚だしき差額有る事多きを以て其の弊害を矯し統一を圖るに在りと云ふ（金泉）

馬山釀造品評會

慶尙南道釀造品評會は去る廿二日より馬山公立小學校にて開催中なりしが審査終了し二十六日午後一時より同校講堂にて賞品授與式を擧行したり淸酒に於ては優等四名醬油に於ては優等……

特許瓦土地買收

特許セメント瓦製造會社にては先月來京釜線新炭[?]附近の土地一千坪を買收して同會社分工場新設計畫中なりしが愈々十一月初旬より工場建築工事に着手の豫定である（釜山）

羅南燃料狀況

羅南附近は燃料の缺乏に拘らず石炭は其の產出地にて牛車にて運搬さるゝ狀況にあり其牛車も昨年の如く牛疫の發生せざる限りは農業收穫の終ると共に續々出廻るべく値は一車三十五錢前後なりと（羅南）

撫順蔬菜品評會

撫順蔬菜品評會は廿二日三日撫順公會堂に於て開催したるが本年は出品數稍減少せしも品質は向上しつゝあるも一般の審査の程度を了解するに至らず自家にて判斷し得るに至らず本年は耕作地をコレラ病舍に編入されたるもの多く其ため出品の多からざりし……（撫順）

きの狀勢にて木炭に至つては出廻り未だ多からざると共に價買目に付三十錢より三十五錢昨年冬季ハ既に値を出して前途を氣遣ひつゝある者多し（羅南）

火災保險引上

實施後の狀況

朝鮮に於ける火災保險協定率は去る九月十五日より實施されたるが實施後の狀況を聞くにもこうせり

前保險率は從來の保險率に比し一般に平均三割位高率なるを以て滿鮮の各地に於て同率が實施さるゝ事となりたる結果京城に於ても一般經濟界に及ぼす影響は大なるものありとて其實施を停止方を提議する者もありたるも當業者側にても協議の結果實施は期限付にて保險契約解除又は保險金額の減額により當然減少すべしと豫期したるに事實は全く反對にて從來の契約は期限通り繼續せられ又保險金額を申込む向きなく一般に好調にありと云ふ之れ全く經濟界の好況に伴ふ當然の結果と云ふべく協定率實施は確に其の時期を得たるものとならん

總督邸晩餐會

齋藤總督は二十八日午後六時半官邸に目下入城中の吉林督軍顧問齋藤大佐を招待し晩餐會を催せり

慘憺たる露國

立花關東軍司令官談

立花關東軍司令官は二十八日夜京城通過東上せるが其の談に曰く

余も不相變頑健であるが年を取つたよ、駄目だと思つた寺内さんが死んだのは實に意外だ斯う云ふ丈夫の寺内の明石が死んで後任は行政を主とせる同地の事故武斷一遍では不可ない余は過般吉林哈爾賓地方在住內地人の內地人も無屆不參者等は殆どなく其の言語や動作もハキ〳〵として活氣に滿ち思想上にも何等憂ふべき傾向を認めず何れも一見識持ちたる如く見受けられ其の成績或は內地に於ける簡閲點呼に劣るまいと頗る顧し歡く思つた吉林の飽督軍とは師弟の關係があるので先生の來林と云ふ譯で非常な歡待を受けたよ長春より哈爾賓に至る

沿道に於て先づ目に入るは寒天に襤褸を纏つて身振ひしてゐる露西亞少年の群でパンを投下すれば相爭うて奪ひ合をなす有樣行路死亡者の多くは露西亞人である露西亞將校も眞に目的に應ずるはホルワット位のもので其他の多くは隨分酷い服を著けて宴會に臨んで居るに反し曾て露人の爲めに侮蔑されて居た

支那人が意氣昂然として濶歩し其の傲慢なる態度に嫌惡の念を感ぜしむる者があると同時に一面露國の慘狀には一掬同情の淚を注がざるを得ない偉々數年にして走馬燈の如き變化を見る誠に感慨無量である兎に角支那人の勢力は侮り難く哈爾賓の如き殊に其の根柢深きを見る、今回は東上を急ぐから總督にも敬意を表する事が出來ぬが何れ歸途には京城にも立寄り亦士產談もしよう

朝郵營業概況（下）

配當年一割

二、東沿岸各航路

元山雄基線（命令私營）

雄基門司甲乙線（命令）

三、南沿岸各航路

釜山濟州島線（命令）

釜山麗水線（命令）

木浦濟州島東廻西廻線（命令）

南鮮の主要物產たる米及棉花の荷動相當頻繁なるを得たり但此等物產の出貨は毎年度前半季の後半季に劣るは自然の數とす濟州島線及び木浦麗水線の乘客增加の趨勢著しきものありしは特記すべき現象とす

四、西沿岸各航路

木浦多島海線（命令）

仁川木浦線（命令）

仁川海州線（命令）

仁川鎭南浦線（命令）

當方面は地勢上各線の發達遲々たるも概して幾分荷客增加の傾向を認む

以上之を要するに當會社本季の運輸成績は豫期の如くならざりしも平年に比し概して好況を呈し要出に於ては世間一般物價の騰貴に伴ひ船舶修繕費燃料船客賄費其他諸經費の增加を來たせしに拘らず收支計算上相當の利益を收むるを得たり今後諸物價は容易に低落の見込なきに依り經理上細心の警戒を要し且つ內地海運界の反動來りたる際社外不定期船は再び當方面に來襲するもの多きを加ふべきを以て豫め之に備へ併せて資力充實の必要上一層會社經理の健實を計らんとし相當の積立金を控除し其餘力を以て株主臨時特別配金職員臨時特別手當金配當平均準備積立金等を計上せり乃ち總收入金二百二萬二百廿圓十八錢總支出金百六十九萬四千九百六十一圓七十三錢差引金卅二萬五千二百五十八圓四十五錢にして此の內より船價償却金十二萬五千五百三十二圓二十八錢船舶大修繕積立金五萬五千八百九十七圓一錢延物原價償却金一千七百四十六圓四十六錢を控除し益金十四萬二千八十四圓七十錢を得たり之に前季繰越金六萬四千六百四十一圓四十六錢を加へたる金二十萬六千七百二十六圓十六錢の內金八千圓を商法に據る準備積立金とし一萬九百圓を役員賞與金並に交際費とし金二萬三千百二圓四十九錢を海陸職員臨時特別手當金とし金二萬五千圓を配當平均準備積立金とし金五萬二千五百圓を株主配當金（一株に付金八十七錢五厘即ち年七朱に當る）金一萬二千五百圓を株主臨時特別配當金（一株に付金廿七錢五厘即ち年三朱に當る）とし金六萬四千七百二十三圓六十七錢を後季繰越金と爲すを相當と認め茲に利益金分案を提出するに至れり

利益金分配案

第七期後半年度ヨリ繰越……

稅務練習員

總督府にては昨年以來各道第二部長三名を選定し內地に於ける稅關事務の練習及び一般製造其の他の狀況を視察せしめ事務上に於ける實務の關係を研究しつゝある稅務官吏は常に知識を必要とする事なるも一般に關する稅務と一般に練習を修めたる結果其の成績は良好にして練習員は漸次大阪名古屋仙臺の各地財務局にて第一回の試みは必ず成功を收めたるを以て本年も之を實行する事となり東京大阪名古屋仙臺の各地へ派遣する筈なれば近く之が選抜を受けたるは左の…にして既に出張命令を發せられ近く出發の筈なり

咸鏡南道第三部長　佐藤榮三

江原道第二部長　山崎眞雄

京鐵道祝賀式

京城以北の鐵道祝賀式は來る三十一日午前九時より龍山鐵道局にて舉行後り龍山にて祝酒を催し天皇陛下の萬歲を三唱して散會する筈なり

鐵道病院竣工期

總督府鐵道局の龍山鐵道病院は本年六月起工せるが其後工事の進行遲れ本月十一月末竣工の豫定なりしが外部工事は殆ど竣工し暖房、放熱器の取付をなし來月上旬には移轉する筈なりと

人事消息

▲水口隆三氏（總督府稅務課長）稅務打合の爲二十九日朝出發東上

▲深田內務局第一課長 ▲矢鍋財務局理財課長 最近に歐米出張を命ぜられたる兩氏は來る十一月中旬出發の豫定なりと

鳥瞰錄

最近西伯利から歸つた某氏曰く我派遣兵が露語を解せぬ所から思はぬ不覺を取つた喜劇や悲劇が多い▲例へば馬車の事をイズウオーシチックと呼ぶが兵隊共には到底覺えられない言葉である▲其處で記憶術を應用して「一錢二錢五錢（イズウオーシ）」と覺えてゐれば一寸馬車を呼ぶに便利である▲或時某士官が伍長に馬車を呼べと命じたので兵隊は直ちに大聲で「オーイ給双紙」と叫んだ▲すると近くの工事中大きな鐵張の箱を抱へた露人が四つ五つ抱へて來た事もあつた▲此處に於ての三千の靈を祀る八百五十枚の男の寫眞が出た▲之に女の寫眞で「妾は此處に於て葬る」と書き添へてあつた▲此婦人の忠告は定めて貴重なものであつたらうに惜い哉肝腎な一語が不明であつた▲兎に角日本の小町娘の女であつた事丈けは確だ

京日案內

京日案內　一回前金　名前廿錢二十錢　一回前金　番外金五十錢　▲中込後中途掲載中止は料金不返却　▲六回以上の申込は特に割引の事　▲照會は返信附に非ざれば回答せず

乳母入用　但子供は正月生　龍山鐵道社宅六十五號ノ一　田中

女中入用　京城本町一丁目電話四七番　まからんや

社員高給招聘　外務員廿五歲以上有經驗者履歴書携帶本人來談あれ　京城南山町三京城ホテル前　大正生命京城支部　電九三三

社員招聘　希望者は履歴書携帶至急來社アリタシ　京城吉野町一ノ二七　太陽通信支社

幹部候補　年齡廿五歲以上者鮮人經驗者有履歷書送レ面會日通知ス　京城元町二ノ八　富士生命保險事務所

毛皮なめし並に仕立　獸毛皮製鞣標本調製鳥獸手羽買入　京城本町二　小川貿易商　電話長二〇六五番

恩給立替　金は證書引換地方は規定書送呈　◇郵便ポスト前　京城若草町　西村商會　電話〇〇〇

女工募集　十五歲ヨリ卅五迄　希望者履歴書携帶來談あれ　內地人　西大門外阿峴里（鹹面區）　大正製藥株式會社朝鮮支店

東京事情調查會　東京の事は問合せよ　會則郵券封入申込あれ　東京市牛込區納戸町二七

藥劑師に雇被度し　業務に充分經驗あり　獨身（姓名在社）

帳場入用　年齡四十歲以上　夫婦者にても宜し　京城新町　金清樓　電話四二二

京城分會員　廿一日大長節祝日ニ付午前十時大和町憲兵隊集會所ニ於テ遙拜式勅諭奉讀式舉行候條御參集相成度　帝國在鄉軍人京城分會

結核專門　古賀病院　光州線田代驛ヨリ四町

營業科目

日本柱管株式會社

日本エレベーター製造株式會社

米國キヤボット會社

米國ヘルマン會社

馬淵大理石工業商會

一、特許鐵筋『コンクリート』電柱

一、特許鐵筋『コンクリート』水道管及土管

一、特許『コンクリート』煙突

一、東松式エレベーター、リフト設計製作

一、東松式架空索道設計製作

一、捲物機械クレエン、コンベアー設計製作

一、米國キヤボット會社製塗料各種

一、米國ヘルマン會社金庫並戶扉附屬品各種

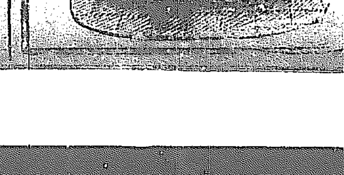
一、大理石材並製品

其他建築材料諸器械

京城府長谷川町八十六番地

朝鮮一手販賣　日米公司

電話一五三〇番



登錄商標

商標に御注意

觀楓に御散策に最適する

日ノ出向鳥印の冬帽子は品質に技工にあらゆる點を代表せり

御最寄帽子店にて御購求を……

發賣元　東京　吉安商店

滿七歲以下のコドモかぜねつさましの

醫學士山口先生御方劑　醫學士稲垣先生御證明

家庭の必備藥

オイン

特長　服用し易く副作用なし

主効　かぜ、ねつ、はしか、はやりかぜ、肺炎

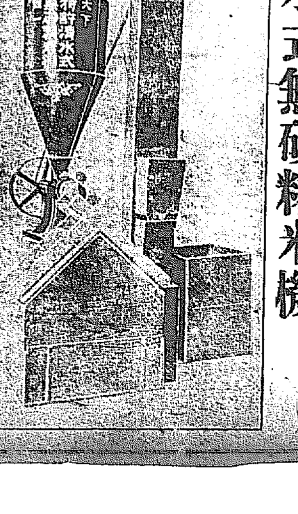
定價　一百日咳…

本舖大阪　丹平商會藥房

京城日報代理部

近日著荷

專賣特許　清水式無砂精米機



（型錄進呈）

京城本町三丁目三十番地

松若商會

電話一四九三番

仁川期米

下關期米特電

東京期米特電

…新嘉坡の一割四分三厘、英國の一割四厘、米國の七分三厘強なるが之を戰前の大正三年と對比すれば大戰…即ち本邦品は戰前は第四位にして…其の供給高は僅に全額の二分九厘…

戰捷後始めての 榮ある大觀艦式

大小の艨艟海を壓する横濱港外の壯觀！

皇禮砲殷々として轟く中を 大元帥陛下御親閲

秋空一碧、天地凡て平和と壯嚴の詳象に充ちたる十月二十八日午前七時四十五分と云ふに天皇陛下には宮城御出門あり横濱港外に於ける一百の艦艇御親閲のため同八時東京驛御發車、八時四十分横濱驛御著車あらせらる横濱驛には加藤海軍大臣、島村海軍軍令部長以下

海軍の將星 悉く奉迎す、陛下には驛にて鳳輦に乘御あり東波止場に著御ましますや加藤海相、島村軍令部長の御先導にて御召艇に乘御あり港内を驅して碇泊せる軍艦特務艦等凡て滿艦飾して奉迎の誠意を表し奉れる中を 天皇旗高く掲げたる御召艇は飛の如く走り、此時

御召艦攝津 より殷々たる響きして皇禮砲發せらる、供奉艦平戸、香取、筑摩、滿洲以下參列の諸艦凡て之に倣ひ暫し港内暫しが轟々たる砲聲に壓し終られたり、斯くて陛下には御召艦攝津に御乘艦あり甲板上に設へ奉れし玉座に著かせ給へば錦光輝く 天皇旗は

サツと閃き 初秋の海風に御稜威の靈れ溢るゝ計りなり觀艦式場の光景は左の如し ▲平戸は御先導艦として御召艦之に次ぎ香取、筑摩、滿洲の三艦之に供奉す ▲第一列には山城、扶桑、日向、伊勢、安藝、薩摩、鹿島、津輕、鞍馬、伊吹、生駒、周防、磐手、八雲、利根の十五艦 ▲第二列には榛名、金剛、比叡、霧島、常磐、淺間、出雲、吾妻、三笠、朝日、敷島、富士、秋津洲、最上、千早の十五艦 ▲第三列には淀、樫、檜、桑、椿、楓、榎、桐、谷風、江風、對馬、浦波、磯波、綾波、如月、初霜、彌生、神風、卯月、長月、菊月、水無月、第十九、第二十の潜水艦合計二十五隻 ▲第四列には阿蘇、韓崎、栃、榎、山風、海風、濱月、磯風、天津風、千歳、初雪、時雨、初春、追風、疾風、夕風、潮、朝風、子日、若葉、不知火、陽炎の二十五隻 ▲第五列には第十、第十一、第十二、第十六、第十七、第八、第十五の各潜水艦、浦風、夕立、三日月、白露、夕暮、吹雪、有明、陽炎、曙、雷、朧、鳴、白鷹の二十一隻

諸艦整然として一絲亂れざる態にて御親閲を待ち奉る、而して陛下には御召艦乘御と共に加藤海相、島村軍令部長、山下大演習觀艦式指揮官、名和横須賀鎭守府司令長官及び御召艦に陪乘の榮を賜ひたる

原首相以下 の國務大臣及び井上神奈川縣知事に賜謁の事あり、此して九時五十分と云ふに御召艦は平戸艦の御先導にて第一列より順次諸艦整列の間を縫ひつゝ進ませらる、此時參列艦船の乘員は凡て奉賀を高唱し、諸艦は更に皇禮砲を發す斯して靜々と御召艦は御親閲を了らせ給ひて最初の位置に復するや陛下には大演習に關する御詔語の御事あり

勅語を賜ひ 次で本邦駐剳外國大公使クルペンスキー露國大使以下に賜謁、了りて御召艦は午後二時三十五分横濱港内に向はせられ午後三時十五分と云ふに御召艇に乘御、同五十五分横濱驛御發車、四時三十五分東京驛御著還幸あらせられた(東京特電)

機動演習畫報 統監旗下に於ける奥田少將(右)

梨本宮近く御快復

畏き御精勵

在遼陽梨本師團長宮には去る八日奉天鐵嶺間に於ける演習御統裁中感冒に罹らせられ一時は御體温三十九度以上に昇り疾漸く發熱に堪へざる御容態なりしが二十五日より御熱漸次降下し近く御快復あらせらるべし殿下の御病氣は全く御精勵の結果にて二十八日鐵嶺南方にて零下三度の寒氣を冒し午前四時頃より御出動ありたる爲なり御容態は每日二回宛師團本邸及び陸軍省に打電あり妃殿下姬宮御心痛一方ならざる御模樣にて御容態御伺ひの電報を頻發せられつゝあり(大連特電)

壯烈なる白兵戰

九老二里にて兩軍衝突 悽慘の氣天地を掩ふ

東軍も西軍も共に遭遇を豫期して主力を前進せしめた以上遭遇戰は免れぬ制令に依れば步兵部隊の先頭だに二十八日午前六時までは彼我共に動かせない動かせない以上騎兵部隊及び

諸斥候の 活動に待たなければならぬ彼我共に騎兵部隊諸斥候を派出せしめた。廿八日午後五時から彼等は重大なる任務に就いたのである。ゆくゆく敵情を搜索しながら進んだ。夜は冴わても月が無い其の闇夜である、それでも彼我の斥候は支隊の目となつて活動した、其の結果は各所で小部隊の

衝突を演 じた、騎兵部隊の襲擊、步兵斥候と騎兵斥候と衝突し龍山市街でも騎兵の襲擊が行はれ市民の夢を破つた西軍は二十八日午前三時漢江橋梁を確實に占領したが拂曉東軍の步兵一小隊の猛烈なる攻擊に堪へず切角奪つたのを

東軍の手 に委さねばならぬ運命に逢遭した、そして本隊を待つた、午前九時東軍の主力先頭軍隊は鐵道橋梁に達した、前面に敵のゐる事を察知したる東軍支隊長富塚大佐は主力を擁し大方里に迂廻せしめ敵の側背を脅威し或は得ればと

敵を包圍 し且退路を遮斷する目的を以て前進し一部隊が永登浦の線に達する時砲兵をして猛烈に射擊せしめ其の掩護の下に西軍は攻擊前進に移つた平和な部落も忽にして殺氣漲り悽慘の氣全く大地を掩ひ喊聲起るご見るまに壯烈なる白兵戰を交へた東軍の主力は擴大方里に西軍の

側背を脅 かす企圖であつたが不幸戰機を逸し遲れ馳せに驅け付けた時はもう演習中止の喇叭が鳴り渡つてゐた。不知千八百六十六年普墺戰爭のトラウテナウの遭遇戰と何れが壯烈なりしを十一時半講評の爲めの演習準備に移つた(二十八日正午矢橋特派員)

夜の美觀

晝を欺く電燈裝飾

此夜横濱港在泊の軍艦は凡てイルミネーションを點じ煌々として晝をも欺く壯觀を呈したり、尚當日拜觀を許され各艦船に便乘を許されたる諸員は午餐を賜ひたり(横濱電報)

義州通の强盜

短刀を突付脅迫

二十七日午後七時三十分頃高陽郡神道面西大門外新里二百七十八番地韓京吳(三)が京城よりの歸途義州通獨立門附近より二名の鮮人に狎れ/\しく話掛け道連ごなりたれば鮮人も種々話乍ら高陽郡恩平面礎里部落に差掛りしに又々二名の鮮人が加はり同郡恩平面佛里に來たる頃連の一名は遽に鋭利なる刃渡り五寸許りの小刀を韓の胸先に突き付け『金を出せ』と縮み上る韓を脅迫して銀銅貨取交ぜ六圓を强奪する中他の三名は馬に負はせ居たる砂糖二十斤價格八圓及び羅紗四尺價格六圓を剝奪し四名の賊は後白波と蹤跡を晦ましたるより其筋にては目下犯人搜索中

私娼にお灸

市内本町四丁目九十九番地延明ますこ(二二)は二十六日黄金町四丁目五番地飲食店山口かつ子方裏座敷に於て林町百六十二番地荷子職工矢田榮(三五)を啣へ込み密淫中を本町署に突き止められ違警罪により同署にて拘留五日に處せらる

狂犬と決す

南大門通一丁目二十六番地野々村滋之方に飼養せる犬が二十五日南米倉町二百三十六番地山下あい子及び南大門通一丁目二十五番地永榮朝吉に咬傷を負はせしより血液試驗中の處狂犬病と確定したれば二十七日本町署にて撲殺したり

菊花品評會

主催 京城日報社、每日申報社
場所 本社來青閣に於て
觀覽日時 自十月卅一日至十一月二日 每日午前九時より午後四時迄

出品歡迎

▲審査は十月三十一日ミし發表は十一月一日とす ▲品評の結果優良者には賞狀又は賞品を贈呈す ▲審査は大鉢小鉢二種に別ち二種に付入選を左の如く定む 一等二人二等三人三等五人四等七人五等十人 但懸崖は別に品評し一等一人二等二人三等三人に賞を附す ▲出品申込受附は十月二十九日迄とす ▲出品搬入期を同三十日正午限とし搬出期を十一月三日と定む

『朱子家訓』頒布

京畿道參與官金敎哲氏は平素精神の修養に努め先哲の『朱子家訓』を心讀して修身齊家の資と爲し居れるが氏は一萬圓の記念として『朱子家訓』を新形三折の極上等トノコ紙に印刷し之を天下の同志に頒つことゝし既に數百部を無料配付したるが尙ほ二百餘部の殘餘あり希望者は京畿道廳內金敎哲氏宛申込まれたしと尙同氏は昨春本社主催の九州視察團に參加し其の感想錄を發行して無料配付したることあり

音樂演奏會

南山町三丁目見四統會司會者中島樂洋氏主催の下に秋季大演奏會を十一月二日午後六時より南山町に於て開催の筈なるが當日は後援として…石井つる子、太田よし子兩氏門人數名、尺八村上要岳氏、長唄三弥番藝妓連中出演す可く曲目は黒髮、八千代獅子、松の緑、六段、新鶴の巣籠、秋の言の葉、ホトヽギス、千鳥の曲、越後獅子、鶴龜、勸進帳、都の春、松竹梅等外十數番にて千鳥の曲、鶴龜等はヴァイオリン琴尺八三味線の大合奏にて一時に十餘名の男女出場妙技を揮ふ由

貰ひ状

いさゝせの年增で態榮と云ふのは、もと八景園で鳴らした在東風にお思召せ、其れが先夜朋輩四人とお客のお供を仰せ付つて、勢よく本町を走せて居る內、何うした調子か態榮の乘つた車と前方から來た車と摺れ違い樣、ガチャンと輪と輪が衝突して啣み合つた、双方の車夫は躍鬼となつて口論し始め、はては摑り合ひと云ふ大活劇を始めた、處が兩方の車は輪が食い入つて居るから、車夫が放せば車が兩方共倒れるので、喧嘩しつゝもお客大事と車夫は蜘蛛の喧嘩の樣に片手許り出して掴み合ふ姿、車上の態榮は降りやうにも降りられず呆然して居ると、ソレ喧嘩だと忽ち四方八方から見物は十重二十重に取り卷いた、すると誰者が來て居る者だ、何處の藝者だ、別品だなあ、なあに彼の樣な者が別品があるかいと喧嘩は彼方のけにして散々態榮は油を取られたので、はては泣きたくなつて、アレー助けて下さい

○送別歌留多會 十一月二日正午より倭城臺支部に於て美矢飛會の主催にて司會員白石卿太郎君入營に付き送別歌留多會を催する由會費三十錢廣く同好の士の參會を希望すと

○モヒ患者の行倒れ 二十六日午前三時頃住所氏名不詳推定年齡三十五歲位の鮮人男が黄金町一丁目十番地先道路に死亡し居たるを巡邏中なりし巡査が發見し本町署に通報したれば同署より二十七日朝係官及警察醫出張檢視したるに件の男はモルヒネ注射中毒者にて身體衰弱し其上頭痛を起し死亡したるものなりと死骸は引取人なき爲め京城府廳に引渡されたり

東亞罷業解決す

職工側無條件で復業

東亞實業會社一部職工盟休事件は…會社側に於て朝鮮工業界の將來を慮り、公平なる態度を持して一歩も讓らず覺悟する處なかりしが結果裏面に於て一般職工に對し種々なる甘言を弄し又は樣々に煽動脅迫等を爲す者ありしに拘らず遂に一府の波瀾を加ふるに至らず僅に二日間の臨時休業を敢てせしのみにて依然作業を繼續しつゝありしが會社側にては廿八日仁義洞製造所に開かれたる同會社幹部會の形勢を豫測し約二百名の盟休職工中のボンサック卷上職工は全然無條件にて復業するに至れるを以て殘餘の填充職工も全部之に倣ふに至る可く盟休職工の改悛ならふに因り各自諒解し圓滿に局を結ぶを得しは朝鮮工業界前途の爲めにも祝福す可き好例を示せるものと謂ふ可し

國旗掲揚問題

菊花節を目前に控へて 鮮人有識者の意見を徵す

祝祭日に際し祝意を表するが爲國旗を掲揚するは臣民たる者の本分である、然るに今春騷擾以來鮮人側に在つては重なる會社銀行を除くの外一齊に國旗を掲揚せぬやうになつた、其原因には種々の事情もあるが主として外部の脅迫に依るものが多い樣である、今や騷擾は鎭靜に歸し、不逞の徒輩も漸次其跡を絕ち尙樂齋の口實もした講和會議も終了した、然るに今尙祝祭日に國旗を掲揚せざるは即ち臣たる者の本分に背くもので同時に國家の大不祥事と言はねばならぬ天長の佳節を目前に控へて有識階級は是を如何に見る、左ふ、其陳を聞け。

擧つて掲揚すべし 京畿道參與官 兪星濬氏

大祭日に國旗を掲揚するのは國民當然の義務である然し舊韓國時代は此國風が普くなかつたので今日でも國旗を掲揚しない家もあるが今度は京城府尹から注意もあつたし殊に普通の祭日ミ違つて今上陛下の聖壽無疆を奉祝すべき天長の佳節であるから一般人民は必ず敬意を表し國旗を所有するものは擧つて是を掲揚するに違いない然し近來は不逞鮮人輩が何彼と煽動脅迫するので萬一を慮かつて充分一般の道理を闡明し自發的に國旗掲揚の途に出でしめる事は必要であらう尙國旗を持たなかつたと云ふ家でも最近大分買つたと云ふ事であるから天長節當日は京城全部が國旗を樹てるであらうと確信してゐる又必ず掲揚すべきである

大商店が卒先して 陸軍參將 朴熈斗氏

廿八日の每日申報紙上に大祭日に國旗掲揚云々の記事が見へたが國家の大祭日に國旗を掲揚するのは當然である過般京城では國旗を樹てなかつた事があるが自分は祝祭日には常に國旗を掲げて居る家人の談に依るミ通行人で惡口や嘲笑をしたものもあると云ふが自分は決してそんな忠言を氣に懸けるものではない由來舊韓國時代から萬壽節には國旗を掲げ又天長節にも國旗を掲げて奉祝の意を表したために今日突如として之れを廢するなどは譯が判らぬ、今春自分が軍司令官に陪伴して慶尙全羅の各道を巡つた時に地方の人民は軍司令官に對して國旗を掲げた程であるから來るべき天長節には無論國旗を樹てると思ふ京城は煽動脅迫の爲め一時國旗不掲揚と云ふ不祥事を惹起したミは云へ是又天長節には必ず樹てるであらう夫れには鍾路其他の大通りの大會社大商店が卒先して旗を掲げる事が肝要である、又國旗を持たない家では國旗を買ふなり或は紙旗でも構はないから掲げて精神的にも外面的にも國家の佳節を祝福せねばならぬ

自發的なるを望む 私立中央學校主 金性洙氏

祝祭日に國旗を掲げることは當然のことであつて我々鮮人として何等異論を挿む理由はありません。然し騷擾勃發以來大部分の鮮人が國旗を掲揚しなくなつたのは、如何なる理由に基づくか、又は如何にして國旗を掲揚せしめたら宜しいかミ云ふことに至つては私ミしては言明し兼ます。近く天長節を迎へるのですから當日は成可く生徒各自の家にも國旗を掲げさせたいのですが今の場合學校から命令的に之を實行させるのは甚だ考へものだミ思ひます。何故ならば現在の學生の頭は平靜を失つて居るので假令正當で善良なことであつても持出し樣一つでは却つて反對の結果を生むことがあるからです。兎に角私共が生徒を敎育して居る現在の心持は熱いものを握つて居るやうな狀態ですから火傷をしないやうに心掛けねばなりませんので國旗掲揚問題なども之を强ふることを止めて各人が自發的に掲げるまで待つのが良策だと考へます

赤心を示せ 辯護士 鄭求昌氏

國旗不掲揚問題は餘り干涉せぬ方が宜からうと思ひます、自然に放任して置いても遠からぬ將來に必ず鮮人一般が快よく掲揚するやうに成る事と思ひます、强制的に假令國旗を掲揚しても何にもなりませぬ、誠心誠意國體を尊重し日本國民たるを滿足し謳歌する意志の發露であらねばならぬので强要しなくとも近い日時の間には鮮民一般が喜んで國旗を掲げる日が來やうと信ぜられます、然し之れは私の大體論で現下の場合鮮民の執る可き態度は一部鮮人の誤解され易い現在の時柄ですから强ひらるゝ迄もなく自ら進んで國旗を掲げて誠意のある處を表明し不良の徒に惑はされない赤心を示した方が宜からうと思ひます、此際私は花々しく一齊に國旗を掲揚せよと叫ぶる一人です

模造品續出す御注意

オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見唱道に係りダイヤマグチズムの原理に基く大氣中の酸素を利用するに依る治療器にして使用後直に…

脈搏の整調强壯を感じ疾病の根元を絕滅せしむるに足る偉大なる治療法…多年の病者に效なき雖治…

効力永久にして藥品等の代用を要せず使用に何等の危險なく使用に不便なし婦人子供も容易に使用することを得、脚氣胃腸リウマチス神經痛

肺病肋膜炎心臟病腎臟病…性病…諸病に効力あり詳細は說明書申込次第呈す

定價金參拾八圓

本器の効力卓絕なると異常なる發展とを喚起し近時我多の模造品續出せり効力永久にして的確なる眞正の本器に御注意あらんことを御願す

特約店 龍山驛前 酒本高明

東京麴町區有樂町一ノ三 大日本オキシパサー商會 電話本局二六九七・振替東京二三八二一番

宮內省御買上通知書

帝國發明協會長阪谷芳郎男爵有功賞授與
全國發明品展覽會銀牌授與(審査官九州帝國大學工科大學長工學博士服部鹿次郎氏)
農商務省特許公報ニ曰ク『本發明ハ蓄音機ノ如キ破損シ易キ構造ヲ用ヰズ堅牢安價ナリ』
專賣特許第二五六八〇號第三一六九九號

クトウ蓄音機 一臺金七圓 荷造送料內地九十五錢

○普通ノ音譜ヲ用フ上等兩面音譜一枚六十錢 ○發音ノ明瞭ハ數百圓ノ蓄音機ト同樣絕對ニ玩具的ニアラズ ○子供ニモ容易ニ使用シ得ル…

說明書(無代進呈) 東京神田區今川小路一ノ三 發賣元 藤屋商會 振替東京三六二五五番 電話本局二七六六番

新學期開始 會員大募集中
新學期を開始し、會員大募集中にて、此際の入會者に限り種々の大特典あれば、今が入會の最好機である。

自宅に居ながら 料理が覺えられる 作法と裁縫も同時に覺えられる

▼女子の本分 女は料理と裁縫が上手で禮儀作法を辨へて居れば充分である。殊に食品騰貴の今日、安い食品を美味しく滋養ある樣調理することは、一家の經濟上にも、保健上にも亦必要な事で、女は必ず覺えて置かねばならぬ。
▼板垣絹子主宰 の東京割烹講習會は、夙に此點に留意し、早くから『家庭料理講義錄』を發行し、各專門大家をして料理と、裁縫と、禮儀作法と を、何人にも解る樣、親切に平易に講義せしめ、每月一册宛會員に分ち居る故、同會の會員となれば、居ながら料理と禮儀作法と裁縫とに通じ而して半ヶ年にて修業證書を、一ヶ年にて卒業證書が貰へるので、學校に行つたと同樣である。
▼新學期開始 同會は目下新學期を開始し、會員大募集中にて、此際の入會者に限り種々の大特典あれば、今が入會の最好機である。
▼內容一斑▲
日本料理料 日本料理一切
西洋料理料 西洋料理一切
支那料理料 支那料理一切
和洋菓子料 和洋菓子一切
禮儀作法料 禮儀作法一切
和洋裁縫料 和洋裁縫一般
▼會費 は壹ヶ月分四拾五錢なるも、前金にて申込めば、半ヶ年分を貳圓四拾五錢に、壹ヶ年分を四圓七拾五錢に割引す。
▼入會手續 は簡單で【ハガキ】に【講義錄送れ】と書いて申込めば、直に會員に加へ、每月壹冊宛講義錄を送り、其地の郵便局より集金に行く故何の手數もなし。
▼大特典有り 同會は創立拾週年紀念として、此際の新入會員に限り、入會金を免除し、【料理必携】を全部進呈する外、壹ヶ年分の會費前納者に田邊先生著【最新パン製造法】(菊判百五十頁)を呈す。
▼說明書進呈 內容說明書入用の方は京城日報新聞廣告に依る旨申越あれば無代進呈す。
東京市本郷區元町 東京割烹講習會 振替東京三九四〇番 電話小石川二六四四番

新古洋服 在荷豐富 必確實品新調 値段半額以下 定價表申込次第急送 東京神田區表神保町三七 永野商店洋服部 電話神田二五九一番 振替東京三九七八二番

益々有望なる本業副業
此際秘傳參考書無代進呈 男女六十歲迄至急募集 僅の費用と勉强にて自宅獨習で開業の上は醫師同樣尙今後益々發展の途ありて收入多く高等學出身も及ばざるあり且開業は老年に至るも心配なく帝國領土內海外共自由にして他業の如く其の發ひなし◇科目は電氣マッサージ灸術鍼術學力不問速成至急ハガキで申込見本一册無代進呈す○東京青山北町七丁目 日本鍼灸學院

るいれき 無痛。無痕。自宅療法
ごんなルイレキでも切開手術を要せず痛なく痕もつかず具合よく自宅で治る最新藥療法にて既に卓效意外の喜びを以てわざ/\禮狀をよこす人多く效確實無比なりハガキで申込あれ最新進步自宅療法書無料送呈 東京神田かぢ町五 娯愛醫院

腦とはな ぜんそく
腦病、鼻病、ぜんそくで種々の藥を用ゐて效なく困難せらるゝ方は返信切手三錢送早速御照會あれ患者が知らねばならぬ食物のからわけなく治る藥を何人にも無料で親切に敎へてあげます 東京芝南佐久間町一 上山須藥所

いぼ いをのめの妙藥 クラウス
いぼ。いをのめ。たこ。を不思議によく取る新劑送料共卅錢 東京日本橋本銀町四ノ七 小笠原大洋堂

最新刊
朝鮮法令輯覽 近日出來總督府編纂 定價四圓
戰後の日米 下元 一、五〇
銀行會計 究林 一、八〇
西洋歷史集成(中の上) 坂本 三、五〇
日本行政法總論 美濃部達吉 五、〇〇
改造途上の社會 石井宗吉 二、五〇
致富術 丹羽豐七 一、八〇
產業心理學講話 時國利一
孟子通義 定價三圓
神佛の御利益調べ 石川光二郎 一、二〇
人亂島 松田義雄 二、〇〇
浮世ノ穴 浪六 一、三〇
名將初陣物語 一、六〇
京城本町一丁目 大阪屋號書店

りん病 ばい毒 有田…
分析料百圓
◎あらゆる治療を試むるもなほ治らぬ患者は奮つて一度來談あれ
にせ物あり 有田藥を取扱ふ店
京城南大門外停車場通 有田ドラッグ滿鮮本部
京城黃金町三丁目電車通 有田ドラッグ (長電話二八三番)
龍山練兵場前 釜山大廳町三丁目 元山本町三丁目 平壤櫻町十二番地 仁川宮町三丁目 大邱弓町停車場前 鎭南浦三和町五丁目 開城南本町二八九 晋州大安洞藥町 大連岩代町
全國の都市に支店あり

紅の蜘蛛 江見水蔭

挿畫 近藤紫雲

『十』

自動車は坂を登つて、大崎から白金臺町の方に向つて走つて行つた。

既う市中に入つては、運轉手と乘客と密接して、話し合つてなんかゐられなく成つた。

カルメン小糸は、令孃然と座席に澄してゐる。

然うして片隅に置かれた田部谷の外套や帽子やを横目で見ながら、彼が大道へ投出された時の醜態を思ひ出して、失笑せずにはゐられなかつた。

田部谷から强奪した品の中で時計と鼻眼鏡とは彈次がポケットに入れて持つてゐるが、懐中物は此方に預かつてある。六七

百圓は有ると睨んだのだが、猶能く中を調べて見ようと、帶の間に手を遣つて見て、吃驚した。

それが無いからである。

確かに帶の間に挾んだ。それが無いとは不思議だと、念を入れて捜して見たが、矢張無い。

もしやと思つて兩の袂から内懐中、長襦袢の間まで探つたけれど、如何しても無い。

それのみならず、自分の蟇口入の懐中物までが無く成つてゐる。

『まァ……如何したらう……』

自動車の中から一歩も外へ出ないのだから『落しやう』も無い。落したとすれば車内である。それが紛失しやうが無いのである。

斯う成ると如何しても彈次を疑はずにはゐられなく成る。

と云つて子爵の令息が掏摸を働かれる理由が無い。そんな性質の人では無い。あの方は立派な貴公子なのだ。

或は悪戯に拔取つて、妾を驚かすと云ふ趣向では有るまいか。

いや〱、そんな悪巫山戯をする樣な智慧の長けた方とは如何しても思はれない。

如何も不思議で不思議で耐へられなく成つた。

カルメン小糸も斯う成ると顏色を青くせずにはゐられぬ。

『ちよいと、ダムダム！』と耐らなく成つて呼掛けた。

『なんだい』と彈次は振向いた。

『お前悪戯しやアしない？』

『悪戯なら年中してゐるよ』

『今なんだよ。今、特別に悪戯しやアしない？五反田驛前で妾の顏を張飛ばした時に……』

『別に今はしない。前を小犬が通つたけれど、轢き殺さない樣に避けた位だ』

『不思議だわね』

『何が不思議なんだい』

『まァ自動車をとめてお呉れよ』

『二本榎の大通の眞ん中に、自動車を留めて見ねえ。行通係に大目玉だ』

『何處か横町へ引込んでお呉れよ。大變な事が出來たんだから……』

『なんだ〱。大變な事だなんて……あの馬鹿野郎と巫山戯過ぎて、袖の綻びでも切らしたのかい』

『そんな事なら好いんだが……折角拔いた物を拔かれたらしいのよ』

『拔いた物を拔かれたとは、物した物を物されたといふ譯だな』

『田部谷の紙入を盜まれたといふのか』

『盜まれたか如何か分らないが、妾の紙入まで見當らないの。お前本統に悪戯したんぢやア無い？』

『串戯云つて脅かしツこ無しだ。そんな魔術が俺に出來るもんか』

『だつて、いよ〱大變だわ』

『おい〱、本統にお前は拔かれたのか』

『此忙しい中で、噓なんか云はないわ』

『其奴は全く大變だツ』

『何しろ自動車を留めてお呉れよ』

『留めなくツて如何するもんか』

周章て横町へ引入れた。道幅の狹いのも何も考へてゐられなかつた。規則違犯も構つてはゐられなかつた。

急いで彈次は客席の方へ乘込んで、小糸の傍に腰を掛けて。

『おい、小糸、そんな事云つて、お前一人で紙入を取るツモリで、何處かへ隱したんぢやないのか』

斯う疑はずにはゐられなかつた。

日報歌壇

□ 野菊　高原の人(京城)

ちゝのみの父のおくつきあかきに詣づと庭の野菊さりたり

暁の父のおくつき寂しくて降れるが如く啼く蟲のあり

かの昔つぶら瞳の少女なりし千代は母となりぬたりけり

少女子の千代は母なりみどり兒をかい抱きつゝわが家を訪へるも

暁のくだちを裘み行ゆきしみ〱さして露の香なつかしむ

あかさきの海月かゝる松林出づればそこに青の海原

□ 勿忘草(京城)

はろ〲と打廻りつゝ東雲の海邊に立ちてしまらく居る

故にかすぬ寂しさまゝに若鳥に立てれば白鳥の我が前を鋒ふ

しぬのめの遠眼る海を思ひつゝ床に眠ざめばうそ寒きかも

□ 泉島美津雄(京城)

一日の勤め終へて我ぬぐ北のしばらくの暇を得られしさ

□ 露子(仁川)

天窓の硝子戸越しに秋空の青きを見つゝ湯にひたりけり

かれてより弱き身なれど病みぬれば一入胸の騒ぎが悲し

□ 露木まなぶ(平南)

力無き眼をためて我の親しめる重湯の味も捨てかたきかな

病院の庭の木に倚り久々に秋空仰ぎ飲む煙草かな

いろ〱の人の忙しく歩める淋しさ見入る病み上りかな

□ 岩本 苔牛(仁川)

ほつかりと畳の月浮く宵空の果しも知らず晴れ渡りたり

新開の砂地に生ふる名無し草踏みにじられし僞に花咲く

□ 篠崎 潮二(奉天)

風さやぐ黍の畑に秋陽たけわりなくふゝむわが涙かな

今更にかけさかりたる穂きみ黍の畑にしのぶわが戀

君あらぬ我が行く國の山々を見よ雪の降らねば淋しさ

見つめゐる松葉牡丹のさり〲の花の色にも泣かる我が戀

取りさめのなき事思ひいつ知らず眠れば早も朝となりにけり

やさ叫び頬の畔に手をかけてヘルピンにして逃へる友かな

□ 玉蟲吐菻子(仁川)

物なべてひそみて寂し山の上日はさつぶりと暮れにける哉

かそけくも街のどよめき聞ゆ來てこの山上の森のさびしも

だんまりて君と二人し行く宵の道に見出でし白芙蓉の花

つくろはぬ心の前にほの白く咲く芙蓉かな宵なしるけく

松の葉ゆそよぐ風にも怖れつゝこの山の上に君とわが居り

讀者の領分

△私は當年二十五年の青年です今迄家の都合上遊んで居りましたが用事も大略許みましたので大いに働く決心して居る何處の會社でも役所の小使でも宜敷(敎育は乙種農學卒業)御世話なし下され度願ひます(御願生)△總督閣下其他ご知事等近來新任の大官甚だ多し時手は秋高く馬肥るの時大々的歡迎會を催ふしては如何京城府尹發起したまへ諸君以て如何とす(一市民)△新渡邊さん〱貴公の要求を容れるに相應しい家庭が御座居ますから電話(八五五)へお話して御覽なさい(八五八生)△十餘年來官廳奉職中の當二十九歳の青年心機一轉撞球場或は料亭等の番頭若くば帳場に傭はれた住込みを希望す(京城生)△數年前より腕の關節に濕疹を生じ塗布や服藥や注射をなすも快復せず善き治療法あらば御敎示を乞ふ(困却生)△近頃官吏ともあるものが俸給の昂下のみ論じて不平を鳴し居るが如斯者が官吏となるから上下意志通達を缺けるのである勿論物價騰貴の今日官吏なればとて人間だから苦しいには違ひないが左ればとて官吏だけ品物が高いと云ふ譯でないから我慢する外はないタイ、少しは武士は喰ねど高楊枝の心持を持てたらよからう夫共厭なら我輩の樣に浪人になれ(一浪人)△吾人は人身攻擊をなして心好しとする者にあらずされども本欄に於て生意氣と言れし先生の某驛手小荷物取扱所の係員(頭目は下手)なる問に對して何等一言の答なきのみか客に接するに橫柄を極め傲慢に陰なる只々無念無言キリ〱としたる眼を上にしたるのみなるは仝ボタン側眼は何て意地る當なるや、彼れの反省を促すと共に驛長の注意を希望す(注意生)

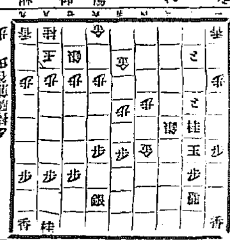
將棋新手合　其五

角落ち　△京城溝呂木光治(六段)　▲京城熊谷順太郎(三段)

(於京城若草町九七溝呂木將棋所)

(圖は前號指了迄の處)

△持駒溝呂木氏　飛角金銀二桂歩



▼熊谷氏持駒

△三五玉▲三七龍玉△四四玉▲四三歩△五四玉▲三五龍玉△五五金▲二四龍玉▲四四歩△二五龍玉△四三歩ナル▲三四龍玉△四四歩(ル)▲四三金△六五玉▲四四金△七六玉▲五五金(以下次號)

溝呂木六段講評

△(ル)四四歩打ちは一歩損なり四四と引にても決果は同じ

株式第二回拂込公告

一拂込金額　壹株ニ付金拾圓也

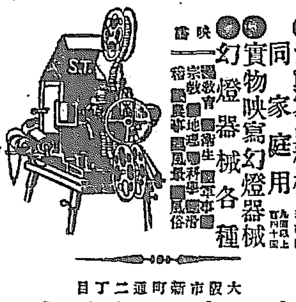
一拂込期間　大正八年自十月三十日至十一月四日

一拂込場所　當行本、支店(東京、大阪、下關各支店) 朝鮮銀行(神戸出張所) 株式會社第一銀行(横濱、名古屋、京都各支店)

右拂込相成度公告候也

大正八年十月六日

株式會社朝鮮殖産銀行



●活動寫眞機械 ●同家庭用 ●實物映寫幻燈器械 ●幻燈器械各種

映畫 ■敎育 ■衛生 ■軍事 ■宗敎 ■地理 ■科學 ■滑稽 ■風景 ■風俗

大阪市新町通二丁目 寺田清四郎商店 電話新町一四一一・三〇 振替大阪一九一三二

博多中島町電話八七九 寺田清四郎商店支店

京城自動車講習所新設

專科一ヶ月卒業 毎月授業開始何人にても入學を許可す

東京自動車學校

校外生は入學隨意

京城黄金町三丁目角

鑛業債券 特別有償 特別贈與 募集

政府鑛業權登錄權利記名式 特別提供

無限の寶庫を開發し巨萬の富を獨占するは鑛業也此國家的利益を公衆に分讓公募し第一回は應募千數百名の多きに噴々たる好評の下に昨年下半期(十二月)本年上半期(六月)に配當一割を實行し驚喜せしめたり今回第三回三ヶ月拾制配當保證付にて元金拾倍の特別有償債券を提供す普通株式の比に非ず鑛業權は帝國政府の登錄により保證する所なれば將來有價證券に將るハガキで申込次第手續書一切を送る

東京銀座三丁目　武尊鑛業出張所

古本と古樂器買入

京城本町 電話二五七 振替二二七 ウツボヤ書籍店

雨覆シート廉價調製需に應ず

營業所 大阪市西區南堀江下通り一丁目

綿帆布 撚糸 商 大谷商店

電話西三八九九番 四二七番

工場 大阪府東成郡榎並町

京城府明治町二丁目(本町江戸川横より入る) 電話二七八番

内科 小兒科 入院隨意 ヂフテリー科 (普通病室 隔離病室)

中島醫院 院主 中島貞信

ホンジョー式 魔法燐寸

新品各種調製

本品ハ堅牢優美ナルハ已ニ世評有使用携帯ニ最モ便ニシテ實用ト經濟トヲ兼備セル燐寸ナリ

大阪市東區谷町五丁目二四 本舗 眞玄商店 電話南九三 振替大阪三三四

大阪賣捌店 北久寶寺町三 鈴木勘商店 博勞町心齋橋角 酒井商店 鰻谷東の町 駒井本商店 千日前入口 共榮舎 南久寶寺町心齋橋角 西海商會

●見本御入用の方は四十錢御送附の事

眼科專門

入院隨意

京城明治町東拓横(電話一〇四四番)

江頭眼科醫院

日曜祭日午後二時迄

江頭富雄

消化と毒けし

三輪 井上 両博士御方劑 仁丹 本舗 森下博藥房

仁丹の活用季

遊山や旅行に・疲勞回復

お酒や食後に・胃腸強健

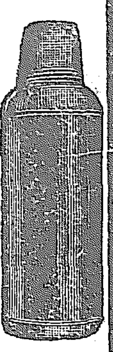
讀書や散歩に・心身爽快

金言 希望は思想の父なり(西諺)

京城明治町二丁目江戸川横(電話六三二番)

入院隨意 内科 小兒科 森病院 醫學士 森定吉

魔法壜ヲ買求メラル、御方ハ須ク其構造ニ注意セラレヨ然ラザレバ後日多大ノ損失アリ



大日本政府 特許第四六七八一號

SUCCES サクセス 二重底マホービン 保温保冷正確

中瓶破損の場合何誰でも何地でも御宅で容易に入替が出來升

○弊店は粗製安物魔法壜は製作致さず候依て安物御希望の方は御照會御無用

○直段の安さを主として粗製品を販賣せらるゝは自己の大切なる店舖の信用を損毀する事多大に存之候

▲弊店製品は三越吳服店其他有名なる和洋雜貨店 艶旅行要具店 化學藥店 洋金物店等にて販賣致候

▲御買求の際特許サクセス二重底魔法壜と御指定願上候

○特約販賣御希望の方は御照會をなふ

○カタログ御一報次第進呈

朝鮮 滿洲 一手販賣 大阪市東區南久寶寺町四丁目 電話船場一四四二番 振替大阪三二八一番 大内商會

製造元 發賣元 EK エフケー商會 大阪西區阿波座上通り三丁目 電話新町二一七番 振替大阪四八七六九番

茸狩りや栗拾ひ！

野山は今人の出盛りです

人目を惹く美しいお化粧には

ホーカー液が一番でムいます

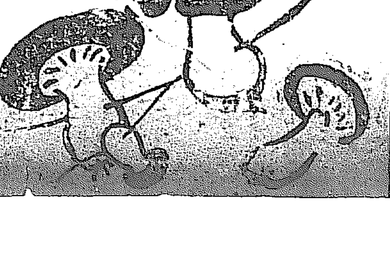
秋の日ヤケを防ぎ……美人となる

ホーカー液

肌アレの豫防にも第一

追々寒くなつて肌の荒れるお方は今から毎日ホーカー液さへお用ひ下されば肌は何時も艶々と美しく決して肌アレの心配はありませぬ

△キメを細かに色を白くす △日ヤケ肌アレを防ぐ △白粉下トキ水によろし △子供の肌を丈夫にす △紳士の髭ソリ後に妙

全國到處の小間物化粧品店藥店にあり品切の節は本舗へ御注文あれ

ホーカー液本舗 東京神田和泉橋 堀越嘉太郎商店 電話神田一四三・一四四・一四五 振替東京一一四五六